

第廿六號
冊內第廿四

泰西經濟新論

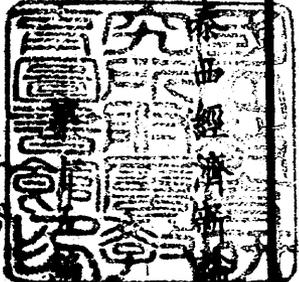
六

教育館

明治九年八月三日交付



交付



卷之六

高橋達郎 譯述

貨幣ノ貿易

前編既ニ國民ノ常ニ經濟上ノ音趣ニ循テ賠償
 如キ諸種ノ利用ヲ技藝百工ノ產物ト地代
 十名稱中ニ包括スル諸生産ノ本位ト合セテ三
 項ノ諸物件ヲ賣買スル上ニ就キ求需供給ノ景
 況何如ヲ論說セシガ貨幣及ヒ財本ノ求需供給
 亦事態同一ニレテ共ニ切要ニ關スルノ事ナ

教育館

大正

3.2
Case 2
shelf 2

類種清
 屬ハ一
 冊八
 函十四
 中野
 世嘉

ラス其通常互ニ相關スルノ景況更ニ甚ク混亂ナルカ故ニ別ニ掲載シテ之ヲ説明セサルヲ得ス元來貨幣ノ本分タルヤ特ニ錯雜ニシテ此語ノ所用頗ル混淆スルヲ免レス

前卷既ニ述フルガ如ク貴金ハ原ト他ノ物品ト同一ノ實況ニ從テ産スルモノニシテ價直ヲ存スルヲ亦他ノ物品ニ異ナルナク且ツ價金モ其生産費用ノ中數ニ比例シテ定マルモノトス然リ而テ其之ヲ欲望シ之ヲ使用スル人ニ分布スルニ方リ其融通他ノ物品ヨリ更ニ容易ナリト

雖モ方法ニ於テハ毫モ異同アルナレ抑貴金ノ内國交換ノ必要ニ充テ且ツ飾具等ニ用フルノ外更ニ剩餘ノ量ヲ産スルギハ之ヲ分布スルノ方法真ニ他ノ商品ニ異ナラスシテ例ハハ奧斯大利ノ金墨是哥ノ銀ノ如キハ恰モ棉花若クハ羊毛ト同一ノ方法ニ從ヒ英國及ヒ英國屬地并ニ他ノ國々ニ産セル某種ノ貨物ト相交換シ即チ此方ニ由テ之ヲ輸入スルノ國ニ於テハ唯彼ノ媒物貨幣ヲ以テ之ヲ得ルノ國ニ比較スルキハ更ニ廉ナル割合ヲ以テ之ヲ收ムヘキナリ何

トナレハ固ト外國ニ於テ産セシ物品ノ價直ハ
總テ其交換ニ供スル物品ノ價直ニ屬スルモノ
ナレハナリ故ニ埃斯大利ニ於ケル金ノ價直ハ
此ニ之ヲ産スルノ費用ニ因リ定ムルモノト雖
モ英國ニ於テ埃斯大利金ノ價直ヲ定ムルニハ
必ス皆其交換ニ供スル物品ノ價直ニ準レテ然
スルヲ得ヘシ今其一例ヲ掲クルニ葡萄酒ノ價
直ノ如キ英國ニ於テハ敢テ是班牙ニ於テ産ス
ル費用ニ由リ之ヲ定ムルニ非スレテ全ク自國
輸入者ノ其交換ニ供スル代用タル物品ノ産費

ニ從テ之ヲ定ムルモノトス乃チ斯ノ如キノ景
況ニ於テハ金銀モ單ニ商品タルノ外ニ出ツル
コナレ
又他ニ分布スルコトヲ目的トシテ金銀ヲ獲ル國
ノ再ヒ之ヲ輸出スルニ迫ンテハ錢ケリ九ナリ
桿ナリ若クハ貨幣ナリ其形體ハ仮令素料ナル
モ製品ナルモ渾テ商品ニ過キスレテ又此金銀
ハ碟子諸細工若クハ家財或ハ身體ノ粧飾等總
テ融通物外ノ物ニ用フル爲メニ輸入スルホモ
同ク是レ商品タリ又外國ニ於テ爲ヒシ負債等

フ償フ爲メ輸入スル所ノ貨幣モ亦必ス商品タルノ範圍ヨリ脱スル能ハス
上文ノ方法ニ於テ用フルノ外貴金ハ又貿易ノ一用器ト爲リ且ツ負債ヲ統計シ之ヲ償フノ體ヲ具ヘ而シテ常ニ少許ノ取り引キニ於テハ既ニ前卷ニ縷述スル所ノ事理ニ由リ總テノ辨償消却ノ用ニ便ス但レ國々ノ間ニ行ハル、大數ノ取り引キニ於テハ其輸出入互ニ相平均スルヲ常トシ且ツ一國眞貨ノ出入ハ其產物ヲ分布スルト同一ノ原由ニ因テ之ヲ定ムルカ故ニ天

然金銀ノ國產ヲ有スル國ヲ除クノ外ハ眞貨ヲ用フルト甚タ稀レナルモノニテ且ツ一國人民間ニ行ハル、諸取り引キト雖モ悉皆貴金ト稱スル器物ニ因テ爲スニ非ス全ク代用物紙幣爲換手形ノ類ヲニ因テ其功用ヲ遂クルヲ常トス喻ヘハ龍動府清債會所ニ於テハ其銀行商相集リテ負債ヲ消スルニ方リ僅カニ一ソ望ライシ其國金ニシテ償一ボ若クハマシルリンク若クハ一バシニ一ノ眞貨ヲモ用ヒスシテ日々大凡一千萬ボンドノ取り引キヲ爲スト雖モ今若レ之レカ

爲メ貴金ノ代用物ナカラレメンニハ實際上甚
 タ不便ニシテ其取り引キ殆ンド爲ス能ハサル
 ニ至ルヘシ是レ則チ代用物ノ便利ニシテ且ツ
 節儉ニ屬スルヲ慮リテ一國可力及眞貨ヲ用ヒ
 サラント勉ムルニ至ル所以ナリ然レテ總テ右
 等ノ負債ヲ統計スルニ常ニ貴金ノ量ヲ以テス
 ルヲナルガ平日清債會所ニ於テ三日間辦理ス
 ル所ノ數ヲ算スルキハ實ニ龍動府中ノ諸銀行
 ニ現有セル貯金ノ總額ヨリ更ニ多量ノ眞貨ニ
 係ルモノトス故ニ今貨幣ノ代用物ニテ取り引

キスルノ實況唯是ノ一局部ノミトスルモ設レ
 一年間ヲ經ルノ後チハ應ニ其龍動府ノ諸銀行
 ニ保有セル眞貨ノ以テ更ニ百倍餘ノ功用ヲ爲
 スヲ察スベシ然ルニ斯ノ如キ器械貨幣ノ代用物ヲ指シテ
 云今日尚未タ普ク文明世界ニ融通セサル所以
 ハ他ニアラフ蓋シ萬國未タ全ク草昧ノ樊習ヲ
 脱スルヲ能ハスレテ皆互ニ殊異ナル融通物及
 ヒ商則ヲ用フルニ因ルモノニシテ歲月ヲ經テ
 後チ此異同漸ク消滅スルニ迫ラキハ彼我各國
 ノ間正金ノ出入ハ恰モ其一國中寥々部落ノ間

ニ分布スルノ觀ヲ爲スト異ナラヌレテ敢テ別ニ過慮ヲ要セサルニ至ルヘレ既ニアダムスモス氏存生ノ時ニ於テハ甚微々ナリレト雖モ龍動ト以テ丁堡ノ間ニ在テ右貴金ノ交換行ハレレト云ヘリ然ルニ今日斯ク如キノ勢ヲ得ルヲ以テ之ヲ推スニ後世果シテ上ノ如ク革面スルキハ所謂外國交易ノ說此說殊ニ金銀ノ輸出モ彼ノ權力平均權ト譯ス又各國同ノ說ヨリ更ニ陳腐無實ノ者タルニ至ル可レ

上文ノ如クナル時ハ一國其飾具等ニ用フル金

銀ノ供給ヲ得シニハ他ノ材料ヲ得ルト同一ノ方法ニ從ヒ自國ノ輸出品ト相交換シテ能ク之ヲ收ムルヲ得ヘレ又通常少許ナル賣買及ヒ交換ノ爲メ必要ナル員數ノ貴金ヲ得シニモ右同一ノ方法ヲ以テスヘシ然レテ又一國ニ保有スル此等ノ金額ノ如キハ其國內ノ賣買増進スルニ從ヒ愈増加スルモノト雖モ亦貨幣ノ代用物ヲ用ヒテ之ヲ省用スルニ至ルキハ還テ愈減少スルモノト去レハ招回銀券ノ使用一般トナリレヨリ國中ニ融通スル眞貨ノ額愈減少セン

トスルニ至リシカ若又更ニ「ボンド」ノ銀行紙幣ヲ用ヒタラシニハ果シテ其現ニ融通ニ付セ
 ル全數其發行ノ銀行ニ於テ正金兌換ノ討求ニ
 應スル爲メ貯藏セル金額ヲ超ユルノ度ニ從テ
 愈世ノ真貨省用セシ徵ヲ見ニ「蓋」必ス可キノ
 但シ國中ニ融通スル真貨ノ如キハ年々其額
 ヲ變易スル「甚」タ少キモノトス其故ハ既ニ述
 フルカ如ク人常ニ其額ヲ増加スルノ企思ナク
 シテ唯其價直ノ標準タル本分ヲ全クセントス
 ルノ外極メテ之ヲ減少セントスルノ奮心ヲ存

スルニ因レリ去レハ當一四世紀ノ初メ英國ニ
 於テ融通セシ真貨ノ額現今融通スル所ト殆
 ト相異同スルナレト云フ抑今日ヲ以テ當時ニ
 比スレハ人口既ニ二倍ニ達シ富饒又幾層ナル
 ヲ知ラス然ルニ尚斯ノ如クナルハ其故無キニ
 アラス蓋シ現今貨幣ノ求需モ亦甚々大ナルニ
 至レリト雖モ然レモ銀行及ヒ為換ノ方法甚々
 容易ニシテ其業更ニ増進セシノミナラス六七
 十年前ニ行ハレシ彼ノ徒ラニ貨幣ヲ貯蓄スル
 ノ弊習全ク熄ミ皆之ヲ出シテ其價ヲ爲スニ因

然レハ則チ飾具及ヒ自國內ノ融通物ニ用フル
 金銀ノ供給ハ通常他ノ必要品ト同一ノ方法ニ
 隨テ行ハル、ヲ知ル而レテ此等ノ事物ニ用フ
 ル貴金ノ量ハ大ニ長スルヲナケレハ亦必ス大
 ニ消スルヲナカルベシ但シ歐洲拿破崙大亂ノ
 際ニ於ル如ク軍兵支給ノ爲メ真貨ノ求需大ニ
 起ルヲモアルヘシト雖モ斯ノ如キ時ニ方リ若
 シ紙幣ヲ以テ金銀ノ代用上爲スヲ得ハ盡ク内
 國融通ノ正金ヲ抽出シテ國外ニ輸スヲモ得ハ

シト雖モ若シ又此代用物ナカラシニハ正金ノ數
 究竟自國ノ融通ヨリ外多キヲ出スニ足ル可ラ
 ス故ニ是際ニ方テ貴金ノ賣買ヲ業トスル者銀行
 商ノ如キモノ出テ其融通ノ額ヨリ甚タ少クシ
 テ別ニ權力アルモノヲ以テ相易ハハ更ニ盡ク
 正金ヲ蠶食スヘシト云フ考案ヲ起スマレ元來
 金銀ハ唯些少ノ外國外ニ出タス可ラサル者ニ
 シテ殊ニ通常輸入品ノ價ヲ更ニ現價ヨリ低ウ
 シテ之ニ供スルニ非サルヨリハ未タ曾テ正金
 ヲ其融通ヨリ抽出スル能ハサルベシト雖モ常

ニ貨幣ヲ輸出セントスル者ノ所爲ハ是レニ出
テス還テ紙幣ト交換シテ正金ヲ收メ乃チ其紙
幣ヲ融通シテ故ラニ正金融通ノ路ヲ妨ケ以テ
永遠艱難ノ効驗ヲ生セシムルヲ以テ謀ヲ得タ
リト爲スナリ

抑紙幣ヲ融通スルノ旨趣ハ之ヲ所持スル者ヲ
シテ隨時ニ其表記ノ金數ヲ討求セシムヘキ權
利ヲ與フルニ在テ若シ夫レ是旨ニ反セル事故
ヲ以テスルキハ其紙幣決シテ表記ト同價ニ流
通スベカラス故ニ偶理ニ悖ツテ行フ紙幣アル

モ其融通ヲ爲スハ他ニアラス畢竟唯其發行者
ノ高義ト償還ノ力普ク世上ノ信任ヲ受クルニ
因ルノミ然ルニ若シ此ニ嫌疑アルカ若クハ之
ヲ贖回スルノ望ミ期ス可ラサルキハ其紙幣ノ
價ハ必ス表記ノ金數ヨリ抵折スベク即チ斯ノ
如キハ最モ不祥ノ景況ヲ冒シテ外國ト取り引
キヲ爲ス時及ヒ物價騰貴ノ時ニ於テ紙幣ヲ用
フル國ノ常ニ免カレサル所ナリ例ヘハ英國ト
佛國ノ間其交換上ノ價英ノ一ポンドハ分數ヲ
除キ佛ノ二十五「フランク」ニ相同シト雖モ佛國

ノ紙幣若シ正金ニ變換スヘカラスシテ強壓ナ
 ル融通ヲ爲レ隨テ其高二割ヲ下タスカ如キ疑
 懼危險ノ事情起ルルハ其自國ノ市場ニテ買ヒ
 求ムヘキ物品ノ價金ハ其額ニ應レ或ハ其額外
 大ナル割合ニ從テ騰貴シ而シテ英國ノ一ソ空
 ライン^{上ニ云フ}ポ^{同レ}ノ正金ヲ得ント欲スルニハ
 必ス三十一^フラングノ紙幣ヲ拵ハサル可ラサ
 ルニ至ルベシ即チ此正金ノ騰貴及ヒ紙幣ノ抵
 下近者合衆國政府ノ紙幣ニ生シ曾テ一時ハ此
 レニ附帶セル嫌疑殊ニ甚レクレテ僅カ百ドル

ラルノ正金ヲ得ルニ二百八十^{ドル}餘ノ紙
 幣ヲ以テセサルヲ得サルニ至リレカ爾後國內
 治平ニ復レ其歲入充物スルニ及ンテ政府漸ク
 其國債及ヒ紙幣ヲ償却スルヲ得遂ニ國人ヲシ
 テ後來政府縱ヒ過度ノ發行ヲ爲スモ皆正金ニ
 テ償辨スヘキヲ望マレムルニ至レリ
 既ニ述フルカ如ク紙幣發行ノ銀行ハ其抵當ト
 スル正金ヨリ更ニ許多ノ紙幣ヲ融通レ得ヘキ
 一ヲ自ラ察スヘキヲニテ例ヘハ何レノ銀行ニ
 論ナク平常三千萬^{ポンド}ノ紙幣ヲ融通シテ其

表紙
目録
第一章
第二章
第三章
第四章
第五章
第六章
第七章
第八章
第九章
第十章
第十一章
第十二章
第十三章
第十四章
第十五章
第十六章
第十七章
第十八章
第十九章
第二十章
第二十一章
第二十二章
第二十三章
第二十四章
第二十五章
第二十六章
第二十七章
第二十八章
第二十九章
第三十章
第三十一章
第三十二章
第三十三章
第三十四章
第三十五章
第三十六章
第三十七章
第三十八章
第三十九章
第四十章
第四十一章
第四十二章
第四十三章
第四十四章
第四十五章
第四十六章
第四十七章
第四十八章
第四十九章
第五十章
第五十一章
第五十二章
第五十三章
第五十四章
第五十五章
第五十六章
第五十七章
第五十八章
第五十九章
第六十章
第六十一章
第六十二章
第六十三章
第六十四章
第六十五章
第六十六章
第六十七章
第六十八章
第六十九章
第七十章
第七十一章
第七十二章
第七十三章
第七十四章
第七十五章
第七十六章
第七十七章
第七十八章
第七十九章
第八十章
第八十一章
第八十二章
第八十三章
第八十四章
第八十五章
第八十六章
第八十七章
第八十八章
第八十九章
第九十章
第九十一章
第九十二章
第九十三章
第九十四章
第九十五章
第九十六章
第九十七章
第九十八章
第九十九章
第一百章

抵當唯、一千萬ポンド即チ其三分一ノ正金ヲ貯
有セハ皆安穩ニ本業ヲ全クスルヲ得ヘレト雖
モ尚モ其紙幣ヲ用フル人々ニ對シ專ラ正實ニ
業ヲ營マント欲スル者ハ須ラク別ニ己レノ私
有ヲ以テ其抵當ノ不足ヲ補フニ注意スヘキト
固ヨリ確然ニレテ往々政府ノ公債證書或ハ已
ニ期限ノ到來セル為換手形ヲ以テ其不足ニ充
テントラ勉ムルヲ常トス要スルニ銀行ニ切
望スル所ハ容易ク正金ニ變換スヘキ家産ヲ持
スルニ在ルノミ

又銀行ニ於テ倘レ其發行スル紙幣ノ抵當タル
正金ノ中己ムヲ得ス若干ヲ他ニ移ス可キ事情
起ルキハ更ニ紙幣若干數ヲ出シテ正金ニ代フ
ヘキト固ヨリ切要トスレバ其正金中ヨリ更ニ
多數ヲ分除セサル可ラサルキハ其度ニ從ヒ紙
幣ノ數抵當ノ正金ニ超ユルヲ愈大ナル割合ト
ナル故是ニ於テ銀行倘レ政府ノ公債證書或ハ
他ノ證券ヲ抵當トシテ紙幣ヲ發行スヘキ權力
ヲ得ルニ非サレバ(上ニ述フルカ如ク其自己ノ
聲名ヲ保スルニ一般必要ナル正金ノ額ヲ貯留

スル爲メ必ス其手ニ收回スヘキ諸紙幣ヲ發シテ融通ノ額ヲ減殺スヘキノミナラス更ニ多量ノ數ヲ廢却シテ幾ト平均ヲ得ル程度マテ之ヲ減少セサルベカラズ乃チ今之ヲ例スルニ通常融通ノ紙幣高三千萬ポンドトレ此抵當ノ正金高千萬ポンドアリテ其餘千萬ポンドハ公債證書ニ係リ千萬ポンドハ私債ノ證券ト爲シ右貯留ノ正金中ヨリ更ニ四百萬ポンドヲ分除スルニ方リ銀行善ク其業ヲ全ウセシニハ宜ク先ツ其公債證書若クハ私債ノ證券或ハ此兩様中ノ

幾分ヨリ八百萬ポンドヲ減少シ且其發行紙幣四百萬ポンドヲ省却セサルベカラス故ニ斯ノ如キ事情ニ際スルキハ融通三千萬ポンドノ金額僅カニ千八百萬ポンドニ零下スベレ但レ是際ニ當リテ銀行ハ徒ラニ其數多ノ公債證書ヲ一時ニ賣却スルヨリ寧ロ已レノ利益ニ原キ其私債ノ證券ヲ減額スベレ然ルニ實際銀行ノ正金ヲ減省スルヨリ起ル所ノ不便モ常ニ容易ク正金ニ變換スベキ証券ヲ抵當トスルキハ反テ衆人ヲシテ其過度ノ發行ヲ以テ満足セシムル

ヲ得ルヲアリ又其抵當ノ正金仮令甚々小數ニ
 下ルモ得意客ハ還タ彼ノ一千七百九十七年ニ
 於ル如ク現然例規ヲ履ミ履マサルニ論ナク齊
 レク銀行ヲ信任シテ其紙幣ヲ受用シ之ヲ融通
 スベキ約ヲ爲スヲアルベク而シテ得意客タル
 者ハ往々古來ノ實驗ニ因リ凡ソ賣買有益ニシ
 テ世上ノ信任厚キキハ假令一國金銀貨幣ニ造
 ノ造ラサルモノノ流出甚々迅速ナルモ又忽チ
 流入スヘキヲ知リ且ツ人々貯有ノ正金ヲ儉
 用スルト同一轍ノ理ニテ徒ラニ許多ノ真貨ヲ

畜積スルハ經濟上特ニ無益ニ屬スルノ趣旨ヲ
 了解スル多キヲ常トス
 斯ク一國貯有ノ正金ヲ減少スル如キ事變起ル
 キハ其間一時商賈ノ大害ヲ爲スヲ必然ニシテ
 是際ニ方テハ必ス供給縮却シテ求需逼迫スル
 ノ事情ヲ見ハスヲ恰モ一國生計ノ必要品ニ乏
 シキ時其供給ノ縮却スルト相異ナルナレ
 蓋シ正金流出ノ原由數種アリテ大要一國外國
 ヨリ物品ヲ買ヒ入ル、ニ行儉ノ所爲ニ出ツル
 モノアリ或ハ秋收不足ニシテ衆人已ムヲ得ス

外國ヨリ多量ノ食物ヲ要シ其供給ヲ仰カサル
ヘカラサルコトアリ或ハ財主其外國貸附ノ爲メ
大ニ儲金ヲ外國ニ放クコトアリ又往々一國外國
ニ對シテ一時甚タ其信任ヲ薄クシ止ムヲ得ス
更ニ以前ヨリ許多ノ真貨ヲ用ヒテ諸種ノ償却
ヲ爲ササルヘカラサルコトアリ又一國其相對ノ
賣買ヲ爲サハル外國ニ就テ許多ノ材料若クハ
成功ノ品物ヲ購贖セサルベカラサルコトアリテ
凡ソ此等ノ事皆正金流出ノ原由トナル者ナリ
但シ今初學ノ書ニ此等ノ事ヲ掲クルハ稍迂遠

ナルニ似タレドモ皆現今互市ノ情實ニ從テ論
說スル所ニシテ古今至大ノ窘迫ヲ生セシモノ
一トレテ此外ニ出ツルナク就中末節ニ載スル
所ノ事體殊ニ切要ノ旨趣トス
抑商人ノ目的トスル所ハ其財本ヲ極メテ十分
ニ用フルニ在リ去レハ物品ヲ他ニ輸入スルニ
方テハ常ニ其爲換手形ヲ受用シ且ツ其事務ヲ
辨理スルノ國ニハ又之ヲ附與シ隨テ物品ヲ入
口スル毎ニ買客ヨリ其手形ヲ要スルコトアリ即
チ此實況亦自國內ノ貿易ニ於テモ稍一斑ヲ存

若シ買客ノ互市ノ約定ニ從ヒ現金ヲ以テ減價ニ其物品ヲ買ヒ得テ自ラ利益ヲ謀ルニアラサルヨリハ賣主常ニ買客ヨリ其手形ヲ受クベシ但シ外國ノ貿易ニ於テハ右爲換手形ヲ造ルノ方一大切要ノ旨趣ニシテ若シ夫レ之ヲ用フルコトナカランニハ商品ヲ購求スル毎ニ必ス正金ヲ輸出シ商品ヲ賣却スル毎ニ必ス正金ヲ輸入セサルベカラス斯ノ如クニシテ永久金銀ノ輸出入絶エサルハ先ツ之ヲ櫃ニ鎖シ之ヲ監護スル等幾多ノ煩勞損失ヲ經テ尚且ツ運輸ノ

爲メ大小ノ危険無キヲ保ツ可ラス然ルニ爲換手形ハ此ノ損害ヲ避クルノ主要ヲ存ス去レハ兩國ノ間ニ貿易ヲ通スルニハ兩國ノ買客共ニ其手形ヲ造リ常ニ些少ノ料銀ニ因テ此等ノ爲換ヲ業トスル者ノ媒介ヲ得テ互ニ消債ノ方ヲ便トスルヨリ善キハアラジ而レテ此等ノ手形ヲ相照準スルニ兩國間ノ數額眞ニ平均スルトアリ斯ノ如キハ則チ兩國間ノ貿易互ニ相同レキモノニシテ之ヲ名ゲテ同價ノ交換ト云フ之ヲ概スルニ金銀ヲ現ニ運輸スルハ實ニ不益

ノ極ト謂フヘシ
 若シ又龍動人ノ巴勒ニ在テ持セル手形ヨリ巴勒人ノ龍動ニテ有セル手形多キ時ト雖モ必シニ正金ヲ龍動ヨリ巴勒ニ運輸スルヲ須ヒス其故ハ別ニ烘不爾厄ノ如キ都府ニテ龍動ニ償フヘキ債ヲ有スルモノアリテ既ニ龍動ニハ其受クヘキモノヨリ償フ下キモノ多ク巴勒ニハ其償フベキモノヨリ受クヘキモノ多クレハ則チ此兩間ニ入リテ能ク間接ニ其差等ヲ平均スベク而レテ若シ此三府ニテ猶平均ヲ得サレハ更

ニ他ノ一二府ノ之ヲ補フアリテ敢テ支梧スルヲ無カルヘシ且ツ往々世界通商ノ地舉テ相合シ各國合計ノ輸出品ヲ以テ其合計ノ輸入品ニ償フノ勢モアルヲナリ故ニ大英ノ如ク全世界ト貿易ヲ爲スノ國ニ於テハ其交際ヲ便トスル爲メ通商國ノ間ニ於テ常ニ此方法ヲ定約セリ然ト雖モ此等地方ノ中甲國ニ於テハ其輸入平常輸出ヲ超エ乙國ニ於テハ其輸出平常輸入ヲ越エル如キハ又正金ノ運送ヲ免カルベカラス乃チ乙ノ例ノ如キハ加福尼ニ於テ金山ノ發見

以來常ニ合衆國ト大英國ノ間ニ存スル所ノ實況ニレテ且ツ方今奧斯大利ト英國ノ間ニ確然行ハル、所ノモノ亦是レナリ又甲ノ事情ハ恰モ前ニ揭クル英國佛蘭西烘不爾厄二國トノ間ニ存スルカ如キモノ是レナリ而シテ此ノ事情ニ從ヒ英國常ニ新世界即チ亞米利加及ヒ奧斯大利州ノ金銀ヲ他國ニ分布セシム隨テ之カ爲メ大ニ其國益ヲ爲セリ

又一國輸入品ハ價直平常輸出品ノ價直ニ過ク
ルアリ即チ方今魯西亞ニ存スルノ景況斯ノ如

クナリト云フ總テ斯ル情況ヲ存スルノ國ハ正金ヲ以テ多少其剩數ヲ償フカ若クハ此過餘ノ輸入ニ係ル價額ヲ消却スベキ爲メ別ニ輸出品ヲ設ケサルベカラス而レテ通常私債ヲ公債ト爲シ新ニ證券ヲ製シ其利息ヲ償フベキヲ約シ以テ之ヲ輸出シ乃チ約ノ如ク利息ヲ償フニ因リ甲國ニテ製スル所ノ公債證書ヲ乙國ニ携ヘ歸ルモ必ス甲國ニ貨幣ヲ輸出スルヲ須ヒスレテ常ニ家什軍需器械鐵道器具其他有價ノ商品ヲ以テ之ヲ辨スルナリ顧フニ公債證書輸出ノ

一事ニ就テハ或ハ新タニ債ヲ起スモノアリ或ハ従前ヨリ自國ノ人民ノ消却ヲ受クヘキ債ヲ以テ外國人ニ移スモノアリ例ヘハ今我カ輸入スル物品ノ價直、輸出スル物品ノ價直ニ過クルニ方リ外國人若レ自己ノ要求ヲ以テ我レヨリ斯ル證券ヲ得ンコトヲ希望スルキハ則チ此證券ヲ以テ所謂割數ヲ償フコトアル可シ然ルニ若レ前條ニ反レテ輸入ノ過剩唯、一時ニ止マルキハ率子正金ヲ輸出シテ其債ヲ支消スルヲ常トス蓋シ斯ル正金ノ輸出ハ過餘ノ輸入

ヲ止マシメ其不均ヲ整齊スルマテハ絶エテ防遏スル能ハサルモノニシテ唯前利紙幣ヲ正金分ヲ云フ以ノ高ヲ騰貴スルノ一術稍以テ之ヲ下皆然リ防遏スルニ足ル乃チ斯ノ如クスルキハ物品ノ利分必ス減少シテ其職業狹隘ナルカ左ナクハ(物價ヲ騰貴ス可キカ故ニ)物品ノ消費減縮シテ其輸入減少セサルベカラサルテ至ルベシ但シ斯ク之ヲ制限レ得ルカモ畢竟其輸入ノ物品ニ從テ自カラ異同アルコトニテ常ニ生計ノ必要品ニ屬スル求需上ニ就テハ其感響甚々微ニシテ

即チ外國ノ穀物ヲ大ニ輸入スルヨリ起ル正金
 ノ輸出ニ就テハ僅カ前利ノ高ヲ騰貴スルノ舉
 未タ以テ之ヲ妨クルニ足ラスト爲ス而レテ今
 英國銀行ニ貯有スル正金ニ差響ク所ヲ以テ之
 ヲ觀ルニ其輸出國ニ於テ常ニ他ノ什品ヲ得ル
 ヲ希望スルカ若クハ内國ニ於テ該必要品ノ求
 需ニ應スル供給充分ニ至ル迄ハ正金ノ輸出必
 ス連續スルヲ明ナリト雖モ輸入者ハ又畢竟食
 物ノ市價騰貴スルヨリ隨テ其損失ヲ收還スル
 ノ確實ナルヲ知ルカ故ニ都テ前利ノ騰貴ニ屬

國

スル損失ニ堪フルヲ得ヘシ
 然ト雖モ食物ノ購贖ニ供スル正金ノ輸出常ニ
 前利ノ額ヲ騰貴スルカ爲メ之ヲ止ムル能ハサ
 ルノ事情ニ關セス尚前利ヲ騰貴スルノ舉ハ到
 底避クベガラサルモノトス而レテ正金愈少キ
 ニ抵レハ紙幣モ亦愈少キニ抵ル是レ必然ノ理
 ニレテ就中英國ノ如キハ既ニ論說スル所ノ理
 ニ因リ其紙幣ノ減削スル更ニ瞬速ナルヘシ然
 ルニ輸入者ハ只管テ其購贖ヲ永續シテ已レノ
 商業ヲ遂ケンカ爲メ皆競フテ此貯留ノ正金ヲ

得ントス乃チ斯ノ如ク相争フテ限量アル正金ヲ得ントスルヨリ遂ニ又其價金ヲ騰貴スルモノニテ殊ニ其限量ノ正金ハ既ニ容易ク増加スルヲ能ハサル情况ナルニ之ヲ求需スル人ニ在リテハ尚其供給ヲ得ルノ一大須要タルカ如キキハ斯ノ如キ奔競ノ爲メ更ニ其價金ノ騰貴スルヲ一層甚シカラシ故ニ所謂前利ハ賣買ニ關係スル人々中ニ貨幣ヲ貸借スルノ形状ニシテ正金輸出ノ影響及ビ外國貿易ノ緩急ニ因リ其前恰モ食物匱乏ノ時ニ際セル價金ニ於ケルカ

如ク必ス瞬速至大ノ高ニ騰貴スヘク而シテ其財本ヲ借受スル者ノ如キハ債主ト可力及低利ノ約定ヲ爲サルカラス
前利ノ高既ニ極度ニ騰貴スルキハ暫時間人ニ貸附スル財本ノ利息ハ速カニ零落スヘキヲ疑ヒナク是レ正金ノ輸出既ニ極度ニ達シテ是ヨリ將ニ衰ヘントスルニ方リ紙幣ノ發行増加スルニ常ニ發生スル所ノ情態ナリ
按スルニ人ノ増正金ヲ要セサルニ至ル可キ然ルニ又此紙幣ノ過分ナルモ甚ク便宜ニシテ殊ニ其融通唯暫時間ニシテ速

ニ舊ニ復ス可キヲ確然タルキハ此紙幣ヲ用フ
ルカ爲メ勢常ニ前利ノ騰高ヲ妨碍シ却テ之ヲ
衰ヘシムルニ至ルヘシ但シ此レ通常融通スル
所ノ紙幣ヨリ更ニ小數ノ金額ヲ表記スル銀行
紙幣ニ係ルキハ此成績ヲ奏スル更ニ確實ニレ
テ斯ノ如キキハ恰モ常時融通ニ付スル銀行紙
幣ニ均シキ正金ノ額自國ノ融通ヲ脱シテ銀行
ノ店舗ニ入り多少其店舗ノ缺額ヲ補フベシ加
之一千八百二十五年ニ於ル如キ時ハ徒ニ斯ル
發行ノ許可ノミニテモ亦以テ其成績ヲ見ルニ

足ルヘシ何トナレハ是際ニ方リ財本ヲ有スル
者ハ自ラ後來忽チ更ニ抵下ナル前利ヲ受クル
ニ至ルヘキヲ先見レ且ツ尋テ負債者ノ奔競漸
ク跡ヲ屏ケテ債主己ムヲ得ス自カラ奔競スル
ニ至ラントヲ思惟スベケレナリ
是故ニ輸出品ヲ踰エテ外國ヨリ過多ノ輸出品
ヲ購贖スルノ不足ヨリ生ヤル正金輸出ノ効微
ヲ詳明ニヤント欲スルニハ先ツ銀行事務ノ例
規ニ從ヒ宜ク外國貿易ノ總計ヲ將テ自國基本
トスル正金ノ量ト該正金ノ自國ニ融通スル紙

幣ニ報ユル利用トニ親ク比較スルキハ更ニ瞭然タルベシ而シテ此等ノ輸入品ノ總計ハ茲ニ貨幣ヲ以テ算スルキハ通常諸銀行ニ貯有スル正金ノ總計ニ踰ユル七倍餘ニ居ルヘシ然レハ則チ時々發生スル購入ノ過餘ハ乃チ此正金額ヲ以テ償ハサルヘカラス但レ此額ト云フモ原來國內ニ融通スル紙幣ヲ支へ且ツ貨幣ノ數ヲ以テ表記シタル夥多ノ證券ヲ保スル爲メニ用フルモノ、ミ

抑諸事舊ヲ追ヒ商業ノ信任甚々厚クレテ唯替

時間ニテ貸金ノ回還ス可キ望確然タルノ際ニ方テハ總テ負債者ハ常ニ中數ノ利息ヨリ更ニ低キ償ヲ以テ財本ヲ借ルヲ得ヘシ何ントナレハ短小ナル時間ノ貸金ハ常ニ容易ク收還スベカラサル貸金ヨリハ債主ニ取リテ更ニ満足スベケレバナリ而シテ是際ニ方テハ債主ハ所謂經營者即チ銀行商ノ手ヲ經テ業ヲ行ヒ極メテ不時ノ利用ヲ謀リ容易ク金銀ニ代フヘキ者ヲ以テ自己ノ家産ヲ有ヤントテ勉ムルヲ常トス蓋シ斯ノ如ク貸金ノ自由ナル際ニ當テハ往

々人其カニ因リテ物品ヲ購入シ其價直頓ニ下落シテ將ニ損失ニ瀕セントスルノ景況ニ陥イルト少ラス乃チ斯ノ如キ景況ニ際スレハ必ス此等ノ負債者皆其壓低セル物品ヲ更ニ買ヒ収メテ他日輸入ノ減縮ニ由リ其損失ノ回復スベキ時機ヲ俟テ自カラ其利ヲ失ハサランコトヲ欲シ其既ニ借用ヤル如キ貸金ノ額數ヲ再ヒ借用セシムコトヲ謀ルコトアルヘシ即チ斯ノ如クニシテ負債者ノ熱心愈銳キニ從ヒ債主ノ用辨愈減少シ其前利遂ニ騰賣シ故ラニ貸金ノ額數減却ス

ルニ抵リ就中商家ノ微業ヲ追フ者ノ如キハ一時其諸消却ヲ延伸セザルハカラス勢是ニ至レハ世ノ不信任モ隨テ長シ各人皆自カラ已レテ保護シテ危儉ヲ踏マサランコトヲ勉ムルヨリ外無ク債主ハ又小心翼々トシテ無比ノ警戒ヲ存シ以テ專ラ其財本ノ貯有ヲ增加セシムコトヲ謀リ益人心ノ不穩ヲ醸シテ竟ニ所謂貿易上ノ恟懼ヲ生シ縱ヒ至當ノ抵當ヲ附與スト雖モ到底貸金ヲ得可ラサル困難ノ事情ニ陥ルヘシ但シ右貸金財本ノ不足ヲ致スモノ敢テ當初ヨリ此等

ノ事故ニ伴セ存スルニ非スレテ全ク其價金ノ
反復常ナク行險ノ貿易正ニ望ヲ絶ツノ時ニ至
リ始メテ生スルモノニシテ是際ニ當テハ別ニ
法定ノ金額ヲ超エテ多量ノ銀行紙幣ヲ發行ス
ヘキ許可アルカ若クハ商人扶助ノ名ヲ設ケ會
計局紙券ノ體裁ニテ政府ノ紙幣ヲ發行スルニ
非スレハ至難ヲ排レテ之ヲ極フノ方アル可ラ
ス而レテ此ニ云フ紙券ハ固ト政府負債ノ證ニ
係リ定期ノ日ヲ以テ償還スベキヲ約シ其時間
中ハ渾テ利息ヲ附與スルモノニシテ是レ皆古

來ノ實驗ニ由テ證明スル所ナリ乃チ英國ニ於
テ甲ニ掲クル所ノ方法ヲ用ヒレハ一千八百四
十七年一千八百五十七年一千八百六十六年ニ
在リ又乙ニ載スル所ノモノハ一千七百九十二
年一千八百十一年一千八百二十二年一千八百
二十五年ニ用ヒレ所ナリ然レテ又此ニ附記ス
ヘキ一項アリ他ニ非ス凡ソ貿易上ニ禍害ヲ生
スルハ常ニ過度ノ商業若クハ行險ノ商業ニ原
ツクモノ多シト雖モ禍害ノ一タヒ發スルヤ其
影響スル所毫モ商業ノ正不正ナル差別ニ拘ハ

ルコナレ故ニ利息ノ騰高ナル際ニ當テハ彼ノ市價ノ騰貴ヲ俟チ其利益ヲ得ニテ欲シテ借財スル者モ極メテ危険少キ貿易ニ從事セシテ欲シテ借財スル者モ其利分ノ減縮スルハ齊シク免カレサル所ナリ

又一國盛大ナル外國貿易ヲ行フノ際自國內ニ於テハ百工皆甚タ屨屈セル景況ニ陥イルカ如キ情況ヲ生スルコトアリ既ニ一千八百六十七年英國其貿易ニ於テ斯ノ如キ實況ヲ存シ當時輸出入共ニ大ニ増加セント雖モ自國ノ百工伎藝

ハ全ク之ニ反シテ進マズ諸金屬ノ價ハ日ヲ逐テ抵下シ織物モ亦連リニ市場ノ衰フルニ由テ不益ノ情況ヲ存シ造船ノ業ハ又殆ント廢止ニ屬セントシ加フルニ數多ノ合本會社ト稱スルモノ率子事ヲ誤リテ世ノ不信任ヲ受クル少カラサリント云フ蓋シ其事ヲ誤リシ所以一ハ輕浮ナル信任ニ因リ一ハ其幹事者過半ノ不正直ト英國籍没ノ典刑全ク其商業ノ信ヲ壞ル者ヲ罰スルニ適セサリシニ因レリ顧フニ又自國內ニ於テ無智不正ノ行險者事ヲ用フルアレハ利

息ノ高低下レ職業凝滯レテ通セサル事情ヲ生
スルヲアルベシ

第十六編

財本ノ分賦

抑財本ノ利分ハ率子一様平均ニ赴クモノニシ
テ苟モ同一ノ事體ヲ踐ンテ放ク所ノ財本ニ就
テハ其得ヘキ利分ノ高常ニ相同カラサルヘカ
ラス而レテ其財本ヲ有スル者ノ如キ或ハ之ヲ
已レノ職業ニ用ヒ或ハ人ニ貸却スルモ事實相
異ナルコトナク即チ既ニ前卷述フルカ如ク利分

ノ高ト利足ノ高ノ異同ナキモノ莫ソ相判ツ
ヲセシ

是故ニ諸種ノ職業皆一様ニ安全ニシテ諸負債
者亦皆一様ニ信ニ任フルカハ財本モ亦一様ニ
世間求需ノ物品ニ關スル諸種ノ勤勞ニ分賦ス
ベシ然ルニ今日財本ノ蓄財餘リアルニ方リ猶
其各種ノ工藝ニ分布スル周子カラサルモノハ
唯不穩ノ一事之ヲ礙クルアルノミ蓋シ財主ノ
常ニ斯ル疑懼ヲ懷クモノハ實ニ負債者ノ材カ
信義ノ消長ニ關スル所ニシテ凡ソ一國商人ノ

材力善ク職業ノ危険ヲ未然キ明察レテ之カ備
ヲ爲スニ不足ナルキハ殊ニ此等ノ不安ヲ存ス
ル職業ニ就テハ常ニ財本ノ歸向無カルベシ去
レハ財本ハ常ニ確實ナラサル他國ノ求需ヲ目
的トシテ輸出スルモノヨリ寧ロ通常ノ農業及
ヒ氣候ノ變化、市場ノ隆替ヨリ損亡ヲ來ス。甚
タ少ナル職業ニ放理スルヲ多シト爲ス因テ又
職業ノ歴低頻促ニ生シ其止息不時ニ會シ易キ
者ニ於テハ其財本ヲ歸向セシムルノ力他ノ安
全ナル工藝ヨリ少キモノニシテ斯ノ如キ職業

ニ於テハ多少利分ノ饒多ナルヲ表出スヘシ是
即チ債主ノ之レカ爲メニ放銀セントスル奔競
ノ甚タ小ナルヲ示スノ徵候トス既ニ前卷ニ載
スルカ如ク罷工ノ憂アルキハ斯ル事故起リ易
キ職業ニ關スル勞者ノ利益持リ増加シ其勢財
本ヲ有スル者斯ル職業ノ不虞ヲ預量スルノ力
盡キテ遂ニ全ク之レカ爲メ其財本ヲ用ヒサル
ニ至ルマテ次テ息マサルモノナリ
負債者ノ譎詐及ヒ之ニ等シキ惡業亦常ニ財本
分賦ノ容易ナル勢ヲ妨クルモノニシテ從來斯

ノ如キノ所業屢起レリ例ヘハ製造者ノ如キ或
 ハ急速ニ富饒ヲ致サンコトヲ欲シテ漫リニ鹿蒞
 ノ物品ヲ賣リ或ハ劣惡ノ貨物ニ己レト奔競ス
 ル者ノ商印ヲ附シ其他種々ノ方法ヲ以テ買客
 ヲ欺騙シ又局所ニ至當ノ幹事ヲ缺ク等都テ財
 本分布ノ妨碍ニ非サルモノナレ之ヲ要スルニ
 都テ商業ニ名譽ヲ存スルヲ主トシ交換ニ監督
 ノ有功ナランコトヲ勉ムルキハ利息利分ノ高ハ
 世界舉テ一様平等ニ赴クベシ又甲ノ國没藉ノ
 典嚴ナラサルニ乙ノ國還テ嚴ニ之ヲ行フカ如

キモ財本汎布ノ窒碍ニシテ凡ソ世運上進シテ
 茲ニ萬國通商ノ典則ヲ存スルニ至ルキハ設ヘ
 ハ佛蘭西日耳曼英吉利等各國ノ間ニ流通スル
 財本ノ分布ハ恰モ大英一國ノ中ニ行ハル者
 ノ如クナルベク而シテ萬國交際上ノ改正ハ應
 ニ萬國彼我其融通物ヲ共用スルニ至ルト一般
 便宜ノ愈明ナルニ隨テ勃發スベキコト庶幾クハ
 其レ期スヘキノミ
 將ニ萬國ノ典則若クハ其通商ノ例規ニ此等ノ
 變易アラントスルノ間凡ソ一國中財本ノ分賦

ハ求需供給ノ二者相悖ラサルニ由テ行ハルヘ
ク而シテ其贏餘ハ又之ヲ輸出シテ外國ノ證券
及ヒ較計ニ放キ又時々其會計局或ハ銀行會社
ニ貸附スルヲモアルベシ蓋シ財本自然ノ分賦
ヲ妨ケ邪曲ニ之ヲ某種ノ事物ニ用ヒシムル如
キ全ク非常ノ流布ヨリ生スル所以ノ情況ヲ詳
カニセシ爲メ此ニ之ヲ論究セサルベカラズ即
チ所謂非常ノ流布トハ政府其自己ノ目的ノ爲
メニシ及ヒ人民保護ノ爲メニ備用スル貸金は
レナリ

抑政府常ニ財本ヲ以テ定量ノ利分ヲ生ス可キ
某種ノ公舉ニ放カントシ之カ爲メ恰モ私人ノ
如ク借財スルヲアリ即チ各國政府中自カラ貨
幣ノ市場ニ加ハリ貸金ヲ備用シテ數箇ノ鐵道
ヲ作り既ニ成リ之ヲ用フルニ及ヒ其收ムル所
ノ税金ヲ以テ貸金ノ利息ヲ償却シ若クハ自カ
ラ驛遞局ヲ設ケ私人ノ貸金ニ因テ至大ノ財本
ヲ集メ之ヲ其經營事務ヲ行フ數種ノ便ニ供シ
然ル後チ遞送料銀中ヨリ貸金ノ利息ヲ償ヒ別
ニ若干ノ利益ヲ生スル如キ是ナリ蓋シ斯ノ如

クナレハ政府ハ恰モ私人ノ姿ニシテ自カラ借財ヲ爲スモノト謂フヘシ但シ此舉當今大英國ノ驛遞制ニ歷然タル如ク其一箇人或ハ合本會社ノ爲ス所ヨリ更ニ遞送ヲ廉ナラシムルノ便アリテ且ツ所入ノ數所出ヨリ更ニ頗ル贏餘ヲ存スルヲ瞭然タリ

又政府全ク出入相補ハサル目的ノ爲メニ貸金ヲ借用スルヲアリ今一例ヲ設ケハ敵國防禦ノ爲メニ供用スル貸金ノ如キ特ニ甚々切要ニ關シ且ツ外國ニ償フ賠補銀ノ如キ亦至緊ニ屬ス

ヘクシテ共ニ名ハ生産ノ業ヨリ生スヘキ物品ノ保守ヲ包ヌルト爲スモ是レ徒外粧ノ口實ト謂フヘク何等ノ人タルモ救テ此レヲ以テ有産ノモノト爲スモノナカルベク殊ニ外國ノ賠補銀ニ至テハ尚然ルモノトス故ニ此等ノ景況ニ於テ其金數ヲ費スニ方リテハ毫モ其國ニ定時ノ利分ヲ生スルヲナカルヘシ但シ此レ全ク濫費スルニハアラスト雖モ到底何様ノ形狀ヲ以テスルモ亦回復スベカラサルモノトス

上文二様ノ景況ニ就テ其貸金ヲ借用スルノ政

府ハ他ノ負債者ト相競フテ市場ヲ覓ム可キカ
 故ニ其奔競遂ニ利息ノ高ニ影響ヲ作シ漸ク之
 フ騰貴セシムヘシ去レバ又財本ノ貯留即チ負
 債者ヲ俟テ未ク貸却セサル財本ノ額甚ク浩多
 ナルキハ其奔競ノ差響モ亦甚ク功効ヲナサズ
 ルコトアルベレ然ルニ又財本ヲ持スル者ノ恰モ
 物貨ヲ有スル者ト形跡ヲ同ウスルノ所爲往々
 コレアリ即チ財主或ハ將來求需ノ更ニ大ナル
 ニ至ラントコトヲ望ミテ其財本ノ一部分ヲ貯存シ
 或ハ可カ及確實ナル抵當ヲ得ントコトヲ欲シテ濫

リニ財本ヲ貸却スルヲ欲セサルコトアリ乃チ斯
 ク奔競ナキ時ニ際シ政府ノ此額ヲ減スルニ方
 テハ毫モ利息ノ高ヲ騰貴スルモノニ非ス而シ
 テ又財本聚積シテ使用ノ途ナキ事情ヨリシテ
 利息ノ高甚ク低キキハ政府能ク其高ニ影響ヲ
 起スヲ須タスレテ至大ノ額ヲ借用スルヲ得ヘシ
 然リト雖モ其効驗遂ニ又一般利息ノ高ヲ騰貴
 スルモノニシテ斯ノ如キ景況ニ方テハ財本常
 ニ其普通ノ位置ヲ變シテ自然政府ノ一方ニ邊
 向シ因テ通常ノ負債者ハ高利ノ爲メニ苦シキ

債主獨リ大ニ其利潤ヲ占メ勞者モ共ニ然ルヲ
得何ントナレハ當時其閑ニ付スルノ財本若ク
ハ其用フルニ精ナラサルノ財本ハ舉テ之ヲ勤
勞ニ委子且ツ政府ノ經費ハ一般平庸ナルモノ
ニ係ルカ故ニ其勞者ヲ用フルト通常負債者ノ
生産上ノ求需ニ財本ヲ供スルカ如キ比ニ非ス
シテ更ニ巨數ノ勞ヲ保支スルニ因レリ例ハハ
政府ノ貸金ヲ要スル爲メニ利息ノ高ヲ騰貴シ
テ行險ノ貿易ヲ妨ケ或ハ快樂玩奕ニ供スル製
品ヲ減殺ストヤンニ政府ハ還タ此レヲ以テ兵

士ヲ支給シ水夫ヲ雇ヒ船艦ヲ造リ船廠ヲ設ク
ルカ爲メニ費ヤスルハ彼ノ快樂玩奕品ノ供給
ニ關シテ其勞銀ヲ得シ勞者ノ大數ハ皆途ヲ變
シ己レノ利益ヲ政府ノ經費上ニ營ハムレ抑從
來屢存レシ如ク凡ソ一大政府ノ經費ハ常ニ繁
劇ノ勢肥潤ノ色昌盛ノ觀ヲ顯ハスモノニレテ
甚々明達ノ人ト雖モ徃々之カ爲メニ欺カレ萬
國常ニ其國カヲ費ヤスノ時ニ方リ外貌ニ眩惑
セラレテ屢思察ヲ謬マルヲ免カレス然ル所以
ノモノハ他無シ其職業ノ浩繁ナルノミナラス

勞者亦斯ル經費ノ求需ヲ恃ンテ世ノ必要便利ノ事物ニ就テハ故ラニ至大ノ權勢ヲ有スレハナリ

抑政府貸金ヲ收メ工業ヲ作スニ方リテハ從前他ノ繁劇ノ用ニ關セシ勤勞ノ求需止息スルアルバシト雖モ右工業ニ由テ生スル所ノ裨益果シテ永久ニシテ且ツ有産ニ屬スルカハ縱ヒ幾多ノ經費ニ係ルモ還テ之レカ爲メ他ニ數種展足ノ地ヲ與ヘテ往キニ止息ニ屬セシ勤勞ヲ再ヒ誘掖シ或ハ此ヲ以テ善ク彼ニ償フノモア

ルベク即チ古來斯ノ如キノ例往々コレアリキ故ニ人ニ縮地ノ便ヲ與ヘテ某ノ方域ニ往來セシメ且ツ百工ノ所産ヲシテ運輸停滯スル所ナク茲ニ供給ハ市場ヲ得セシムル鐵道若クハ溝渠ノ如キ其工業落成ニ及フカハ仮令其鑿開者建造者等皆罷止ニ至ルヘキモ還テ之カ爲メ別ニ製造所礦場煤窰ノ所産ヲ盛大ナラシムルノ事業モ生スヘシ設ヘハ合衆國ノ煤窰及ヒ石油場ノ如キ海ヲ距ルノ甚々遠ク人ヲシテ外國貿易ノ爲メ其煤ヲ運輸セシメントスルニハ殆ン

ト至難ノ景況ニ屬シ就中石油ノ如キ之ヲ運送
スルノ費用殊ニ大ナルニ因リ方今地中ニ大管
ヲ通シテ其近港ニ達セシメントスル舉アルコ
ナルカ此舉果シテ實際ニ行ハレシニハ必然永
久ノ利益ト爲リ人々其慶ニ頼ルヘキノミ
然ト雖モ其消費ノ工不産ニ係ルニ於テハ敢テ
前例ニ准ス可カラス設ヘハ軍役及ヒ軍中ノ工
作ニ就テ多數ノ人員ヲ用フルキハ人々相競争
スルニ因テ平時ノ職業ヲ索ムル數ヲ減少スヘ
シ然ルニ此事通常作業ニ従事スル人員ヨリ更

ニ多數ヲ要スヘキカ故ニ一時勞者ヲ賑濟スル
ニ似タレバ畢竟大ニ然ラサルモノニテ此工作
ヲ終フルノ後チ尚生存スル者ハ皆勤勞充溢ノ
險ヲ履ンテ財本ノ貯蓄少キ市場ニ復スルノミ
チラス彼ノ不産ノ消費ノ爲メニ借用セシ貸金
ノ利息ヲ課セラル、ノ實ヲ免カル可ラス蓋シ
戰爭ノ浩費一タヒ止シテ後チハ何レノ國ヲ問
ス率子貿易ノ巨害百工ノ大衰ヲ免カル、一能
ハサルモノニテ既ニ大英國ハ歐洲擾亂ノ後及
ヒ合衆國內亂ノ後皆チ此覆轍ヲ踏マサルナシ

而シテ其原由ヲ尋ズルニ他ニアラス戦争ノ起ルヤ實ニ百度ヲ打壞シテ重税ヲ課シ之レカ爲メ人々其倚頼スル所ノ財本貨錢ヲ乾涸セラレ百工自ラ立ツニ堪ヘス遂ニ全ク其業ヲ廢止シ或ハ之ヲ縮小スルニ因レリ

是ニ於テカ正ニドクトルモルメルス氏ノ明示セル無實ノ一奇說ヲ知ルヘシ其說ニ曰ク戦争ノ費用ハ常ニ國ノ所入ヨリ提舉シ敢テ他ノ貸金ノ例ヲ以テ償フベキモノニアラスト今此說ニ從テ其意ヲ案スルニ一國其所入ヲ以テ所出

ヲ辨スルヤ是レ一回其費用ヲ償フモノニシテ倘シ貸金ヲ以テスルキハ二回之ヲ償フノ理ト爲スナリ蓋シ二回トハ其財本ノ己ムヲ得サル消耗ト甲種ノ業ヨリ乙種ノ業ニ轉スル貸金ノ借用ニ從屬ナリトヲ以テ先ツ一回トシ利息ヲ償ヒ元金ヲ償回スルヲ以テ又一回ト爲スノミ然ト雖モ其貸金ノ爲メ毫モ利息ノ高ヲ騰貴スルナク及テ以前ヨリ更ニ多數ノ勞者ヲ用フヘキナルキハ此貸金借用ノ事情ヲ以テ直ニ賠償ノ事ト爲スベカラス但シ第二回ノ償却ハ皆固ヨ

リ免レサル所ナリ

然ト雖モ貸金ト税金ト其間大ニ徑庭アリテ貸金ハ財本ヨリ之ヲ得税金ハ普ク所入ヨリ之ヲ收ム貸金ハ價金ヲ騰貴シ税金ハ一般所得ヲ減少ス貸金ハ負債者及ヒ債主ニ影響シ税金ハ出銀ノ力ヲ減殺ス貸金ハ稍國ノ便利ニ感シ税金ハ國人ノ煩ヲ生ス蓋シ何レノ國ヲ問ハス徒ニ現世ノ裨益ヲ目的トシ將來ニ關セスシテ交戦スルカ如キ固ヨリ敢テ許サ、ル所ニシテ凡ソ交戦ノ切要ナルハ自今以後其國權ヲ安穩ナラ

レメンカ爲メニスルニ外ナラス故ニ又之レカ爲メ治平安業ノ利益ヲ享クル者ハ必ス其備禦國權ヲ光ニスル爲メ費セシ費用若干ヲ賦納スベキハ固ヨリ不拔ノ公論ニシテ豈之ヲ非トスベキモ、アラシヤ今夫レ將ニ至大有益ノ遺物ヲ國權ノ平穩ノ指ニ永世ニ傳ヘントス然ルニ此遺物ヤ他ノ遺物ト異ナルナク子々孫々千歳ノ久キニ相傳ヘテ更ニ重税ヲ受ク可ラサル者トス此理嘗テ亞米利加内亂ノ際歐洲大亂ノ間ニ在テ既ニ驗知スル所ニシテ人々共ニ之ヲ主張シ敢テ

非トスルナク皆黙シテ心ニ許ス所ナリ
 蓋シ戦争ノ税ヲ公平ニ賦課スルハ常ニ甚々難
 キヲニテ若シ夫レ之ヲ一般ノ出費高ニ充ツル
 片ハ(將來國民ノ父母タル)多數ノ家族ヲ蓄ヘ子
 女教養等ノ爲メニ若干ノ財本ヲ放キ其斯ノ如
 クスルカ爲故ラニ斯ル税金ヲ課セラル、者ニ
 就テハ實ニ甚々苛酷ト謂ハサルヲ得ス又前條
 既ニ述フルカ如ク人民ノ食物ハ則チ勤勞ノ材
 料タレハ漫リニ此レヨリ税金ヲ收ムルハ甚々
 不明ニシテ苛斂ニ屬スルヲ免レス但シ人ノ快

樂ニ供スル事物ニ賦課スル税金ノ如キハ固ヨ
 リ苛酷ト爲スベカラスト雖モ其事物甚々不定
 ニシテ其税ノ多寡ニ至テハ殊ニ一定ス可カラ
 ス又入額税私有税ト稱シテ其利分ニ課スル所
 ノ税アリ乃チ公平ニ之ヲ課スル片ハ他ノ賦税
 ヲリハ稍更ニ正當ナルヘシト雖モ苟モ公平ナ
 ラサル片ハ太ニ正道ヲ紊壞シ之ニ從テ生スル
 人倫上ノ弊惡ハ姑ク論セス總テ此暴税ニ附帶
 スル諸種ノ弊害竟ニ絶ユベカラス但シ明達ナ
 ル會計家ハ景況ノ如何ヲ問ハス都テ戦争ノ費

用ハ大率其國歳入中ヨリ償フベキ旨ヲ證明シ
而シテ時ノ新古ヲ擇ハス信ニ至當ノ職分ヲ守
ルノ國ニ於テハ大抵其費用ハ之ヲ其責任ヲ負
フ者指ス政府ヲト爾後其遺物ヲ享クヘキ者ノ間ニ
分付センコトヲ勉ム

第十七編

保護

凡ソ財本ノ分布ヲ妨クル所以ノ諸事項中最モ
有カナルハ所謂保護ノ天然人ニ存スル交換自
由ノ權利ヲ抑制スルヨリ甚レキモノアラズ抑

古今萬國ノ事實ヲ通觀スルニ凡ソ廟堂ノ官職
財本ノ使用若クハ勤勞ノ諸種均シク保護ニ賴
テ其特益ヲ有スルノ適然タル例時トシテアラ
サルナク而シテ某種ノ事項ニ就テハ往々現ニ
立法院ノ政令ニ由テ扶助ヲ受クルモノアリ又
私約ノ結社有志ノ同社及ヒ一團ノ合力ニ因テ
保護ヲ得ルモノ等數コレアリ
夫レ人自由ニ交換スヘキ天賦ノ權利ハ何レニ
往トシテ享ケラレサルナク亦敢テ之ヲ疑フモ
ノナカルベシ然レテ通世人ニ天賦ノ權利アル

ハ固ヨリ確然ニモテ人々相交ルノ際苟モ賣ル
ベカラス又買フベカラサルノ大體ヲ存ス蓋シ
今其權利ノ國法ヨリ出ルヤ將タ却テ國法ヲ抑
制スルモノナルヤ否ニ關シ此ニ之ヲ細論スル
モ讀者ニ益無ク及テ空ニク消光セシムルニ過
キス去レハ今唯彼ノ不正不公ノ法律ハ常ニ強
暴ノ所業ヨリ醜惡ナルモノニシテ畢竟國法ハ
天地ノ公道ニ基テ責任セサル可ラサルモノタ
ルヲ記載シテ足レリトス抑方今世人ノ漸ク証
明スル所ノ如ク人々自己ノ所好ヲ以テ他人ノ

所好ヲ害セサルノ旨趣ヨリ論及スルニ原來邦
國ヲ成立スル所以ハ極メテ人生ノ自由ヲ得セ
シメシカ爲メニシテ今日最モ完全卓立セル國
ニ於テハ自由ヲ以テ天理公道ト爲シ威カヲ以
テ罪惡暴行ヲ妨クノ具ト爲セリ而シテ其君主
及ヒ政府ニ於テモ漸々世ニ害無キ意見行狀ヲ
制歴スルノ特權ヲ棄却シ信ヲ專ラシメ名ヲ重
スルノ心ヲ生シテ十分寛容ノ理ヲ辨シ紛ヲ解
キ争ヲ定ムルニ一ニ公平ノ處置ノ遺ツ可ラサ
ルヲ曉リ大ニ國家ノ進歩ヲ促カセリ

此等 權利若クハ允許中交換ノ自由ハ其最モ
簡易詳明ナルモノニシテ此自由免許ノ大旨ハ
常ニ各人ヲシテ自カラ買ハント欲スルモノヲ
買ヒ賣ラント欲スルモノヲ賣ル爲メ自己ノ實
驗決斷スル所ニ任シ自ラ善ク其能力ヲ用ヒシ
ムルニ在リ而シテ交換ノ自由ハ經濟上適ニ心
意ノ自由身體ノ自由ニ彷彿ス但レ世人ノ能ク
知ルカ如ク方今英國ニ於テ此權ヲ許スノ疆域
甚タ狹隘ニシテ他ノ各國ニ於テハ殊ニ微小ナ
リト雖モ然レモ既ニ天賦ノ權ナル者人々ニ存

シテ其自己ノ勤勞及ヒ勤勞ノ所産ヨリ永久生
スル所ノ諸物盡ク之ヲ一身ニ專ラニスルヲ得
且ツ此等ノ物ハ各最モ有益ノ方法ニ就テ用ヒ
ラルヘキナレハ彼ノ私人ノ賣買ヲ管理シ其財
本ノ使用ヲ掣肘シ其勤勞ノ經界ヲ定ムベシト
云フヲ以テ到頭國家行政ノ要務ト爲ス如キ政
府ノ定論ハ竟ニ全キヲ保ツ可カラス然ルモハ
所謂交換ノ自由ヲ制限スル法度ノ如キハ每ニ
他ノ排擊論駁ヲ免カル、ヲ得可ラス元來此等
ノ項ニ就キ法度ヲ設クルヲ以テ正當ト爲ス所

以ハ其意蓋シ常ニ自由ノ行ハル、一十分ニ過
クルキハ強者弱者ヲ抑ヘ公益ヲ棄テ、私利ニ
奔ル等ノ弊ヲ生シ畢竟政府真正ノ目的ヲ妨ケ
ン一ヲ慮リ治世ノ道ニ於テ公然其自由ヲ制ス
ルノ至當ナリト爲スニ原ケルモノタル一疑ナ
カルベシ
此意ヨリ推及レテ人ノ自由ヲ掣肘スルノ以テ
正當ト爲スベキ景況ヲ詳明スル一今難カラス
蓋シ政府常ニ強ヲ抑ヘ弱ヲ助クルニ其方法數
様アリテ字内文明ノ諸國及ヒ耶蘇教ノ行ハル

、國ニ於テ大約人ノ父母ヲヒテ其子女ヲ賣テ
奴隸ト爲スヲ禁スル如キ即チ其正當ナルモノ
ナリ又同シ正理ニ原ツキ政府時トシテハ恰モ
英國ニ存スル工場令議事院法令ノ名ニシテ原
來微弱ノ小兒ヲ多ク製造
所ニ使用シテ大ニ其健康ヲ害セシ一アリ因
テ之ヲ禁スルカ爲メ嘗テ設ケシ所ニ係ル
爲ス所ノ如ク小兒ノ年齢猶孱弱ナル間ハ其親
ニ戒メテ其子女ニ約シテ勤勞セシムルヲ禁
シ且ツ其子安全ニ勤勞ニ從事スルニ至ルト雖
モ尚其勤勞ノ時間ヲ限定シテ故ラニ父母ノ其
子ヲ人ニ約シテ勤勞セシムルノ方法ヲ監督ス

ルコアリ而シテ農業ノ徒ニモ亦此法令ヲ設ケ
シトニ且ツ衡平律法ナル者アリテ誦詔ノ契約
ヲ防制シ殊ニ衆ヲ保護シテ他ノ羈絆ヲ受ケサ
ラシメ而シテ同軌ニ循テ法律上又自由ニ銀行
ノ業ヲ營ミ自由ニ紙幣ヲ發行スル者ヲ禁シ就
中公場ヲ開クノ時間ヲ節シ典當主ノ典物ヨリ
收ムル利息ノ額ヲ制シ或ハ運輸ノ爲メニ得ヘ
キ貸銀ノ平均數ヲ定メ以テ數種ノ賣買ヲ節制
セリ蓋シ此ニ引證スル所ノ如キハ政府強ヲ抑
ヘテ弱ヲ保護シ會求需ノ一時逼迫スルニ方リ

テ供給者ノ機ニ乘レ非常ノ利益ヲ謀ラントス
ル等ノ害ヲ防ク旨趣ニ合フカ故ニ皆以テ正當
ノ義務ヲ盡ス者ト謂フヘシ
上文ト同一ノ理ニ基キ從來政府事物ノ發明者
ヲ保護スル爲メ賣買ノ自由ニ行ハル、勢ヲ妨
遏セシカ殊ニ英國ニ於テ舊ト王室或ハ議事院
ヨリ專賣ノ權ヲ許スヲ正當トセシ規則廢却ノ
時ニ方リ乃チ舊來ノ商社ヲ保守スル爲メ其論
ヲ主張セシ者ノ言ニ若シ從前未タ曾テ費用ヲ
費シ危險ヲ冒サ、ル者ヲシテ制限ナク許シテ

其貿易ノ新市場ヲ用ヒシムルハ原來多少ノ
辛苦ヲ歷テ貿易ノ爲メ斯ノ如キ新地方ヲ發明
セシ者ノ爲メニハ甚不利ニシテ且ツ不公平ナ
リトノ旨趣ヲ陳ヘシカトモ事實全ク據ル所無
キヲ以テ其論竟ニ不當ニ屬セリ然レモ又宜ク
取ルヘキ牢固ナル原由ニ基キ發明者及ビ著述
者ニ製造出版ノ免許ヲ與ヘ法律上之ヲ保護ス
ヘキノ議ヲ建テ遂ニ其種ノ新工夫ヲ發明ヒ新
書ヲ著述スル者ニ其製造出版ノ特權ヲ得セシ
ハベキコトヲ確定セリ即テ當今百工技藝者ノ爲

メ此等ノ免許ニ關スル法律ノ便宜ナルヲ實ニ
大ニレテ皆其賚賜ヲ享クルト謂フベシ
此ニ次テ又政府國家施政上ノ利害ニ原キ交換
ノ自由ヲ妨クルコトアリ就中其正當ト爲ス阻碍
ノ例ニ目前易々見易キモノアリ即チ平時ニ於
テハ火藥火器其他軍需ニ供スル物品ノ販賣ハ
之ヲ禁遏シ或ハ制限スルノ理ナシト雖ニ戰時
ニ方テハ人民ヲシテ自ラ守ルノ旨趣ニ基キ此
等ノ物品ヲ敵地ニ供給スルヲ妨クルヲ以テ政
府ノ職分トス蓋シ是際ニ方テ若シ斷然封港ヲ

爲スヲ得ル時ハ斯ル輸出ノ禁ヲ司ル又愈堅固ナルベシ
又政府其限量アル物品ニシテ特ニ貴重スヘキノミナラス一國經濟上ノ榮枯ニ關スヘキモノハ其索盡ヲ速カニスルヲ妨クルヲ正當ト爲ス
喻ヘハ政府煤炭ノ輸出ヲ禁シ或ハ之ヲ唯上等ノ器械ニノミ用ヒシムルヲアルベシ但シ英國ハ如キハ煤窯ノ疆域限リアリテ其鑿出スヘキ煤量固ヨリ算フルニ足ラスニテ國製造ノ盛衰ハ全ク此供給ノ永續スルト否サルトニ因レ

リ故ニ今他ノ方法ヲ以テ之ヲ儉用セシムルヲ能ハサルハ勢ヒ立法院ノ發令ヲ以テ強テ之ヲ節制スルモ亦不正ト云フヘカラス然レテ斯ノ如キ景況ニ就キ政府ノ干涉ヲ妨クルノ論ニ云フ物品高價ナレハ衆皆自カラ儉用ヲ爲スニ至ルモノニシテ其成績ハ真ニ立法院ノ制度ニ由テスルヨリ更ニ十分ナルヘシト蓋シ理ハ宜ク政府ノ干涉スヘカラサルニ在レモ効ハ還テ顯著ナルヲ見ルヲ以テ故ニ今此ニハ立法院ノ制度ニ因テ輸出ヲ制限シ強テ之ヲ儉用セシム

ルノ有カナル例ヲ掲載スベシ乃チ此等ノ制限
ハ原ヨリ輸出税ノ方法ニ由ルモノニアラス何
トナレハ賦税ヲ其物品ニ重クスルキハ自カラ
之ヲ儉用スベキ理ナレバ實ハ此レヲ以テ還テ
他ノ斯ノ如キ物品ヲ得ルニ不便匱乏ナル地方
ニ輸出スベシ故ニ輸出ノ量ヲ限ルニ若カサル
ナリ喻ヘハ^{伯露國安得士山及}木其近傍ニ生サル樹名
ニ^ニ供^レ頻^ル其樹皮藥用ニノ索盡ヲ制レ且^ク技藝百
工ニ必要ナル材木ノ蕃殖スル森林ニシテ漸次
稀疎ト爲ルモノヲ豫メ制限レテ其盡滅ヲ妨ク

カ如キ實ニ遠謀深慮ト謂フベキノ
又顯著タル理ニ從ヒ政府限量アル物品及ヒ首
タル要品ヲ讓與スル人民私ノ契約中ニ干涉レ
テ之ヲ操縱張弛スルコアリ即チ斯ノ如キハ既
ニ賣主ト買主ノ間ニ存スル關係ヲ抑制スルモ
ノト雖モ固ヨリ正當タルニ害ナレ乃チ斯ル正
當ノ干涉ニ就キ著明ノ例ヲ知ラント欲セハ彼
ノ土地ノ貸却遺囑定嗣ニ關スル事業上ニ於テ
之ヲ見ルベシ
古來各國行政上ニ於テ人民ニ許スニ土地十分

ノ主權ヲ與フヘシトイフ道理ヲ用ヒシトナク
レテ最大ノ主權ト云フモノモ全ク其地ヲ擅有
スルノ權ニ比スレハ既ニ大ニ懸絶スルコトナリ
去レハ君主或ハ政府タルモノ一國ノ爲メニ其
地全局ノ利權ヲ操持シ常ニ之ヲ收回スルノ本
意ヲ存ス而テ此利權ノ廣狹ハ現ニ英國政府ノ
印土ニ於テ土地ヲ領セル實況ヨリ今日英國法
律上ノ意見ニ由テ推シテ風ト爲ス微弱ノ討求
ニ至ルマテ皆其差等アリテ多少ノ益ヲ存ス故
ニ一國ノ無用タルニ至ルヲ顧ミサルニアラザ

ルヨリハ斷然之ヲ棄却スル能ハス何トナレハ
世上一般ノ利益ノ爲メニハ獨箇ノ私權ニ屬ス
ル土地ハ其現價ニ應シ至當ノ價ヲ以テ之ヲ官
ニ收ムルノ缺ク可ラサル事情アレバナリ
戸口稠密ナル國ニ於テハ土地ニ限量アリテ假
令輸入ニ自由ノ制アルモ之ニ關ヤス相應ニ土
地ヲ耕ヘスヘキハ至緊切要ニシテ凡ソ智巧ノ
農業大ニ開發スルキハ此レ稔ニ人口ノ標準タ
ルニ止マラス生計第二ノ必要品ヨリ娛樂ニ供
スル諸物ニ至ルマテ其分布ヲシテ十分周子カ

ラレムルヲ得ベレ蓋シ原來一國人民中一部分
ハ盡ク其輸入シタル穀物ニ由テモ生存スルヲ
ヲ得可シト雖モ其輸入セル肉類ノ如キ常ニ甚
タ少許ニシテ之ヲ得ル者ハ僅カニ十一ヲ千百
中ニ求ムルニ過キザル可シ他ナレ何等ノ國タ
ルヲ問ハス大約家畜ヲ養フハ皆之ヲ田圃ノ耕
耘ニ用ヒ收物ノ運搬ニ役シ根株ノ生育ヲ助ケ
レムルニ主タレハナリ故ニ彼ノ土地ヲ有レ若
クハ之ヲ貸地ト爲スノ制果シテ農業ノ開進ヲ
妨ケ隨テ國ノ勢カヲ殺シ安逸ヲ減レ就中富ノ

分布ニ不益ナル成績ヲ顯ハス如キ片ハ斯ル法
律ノ用ヲ可ラサルヤ明ニレテ是ノ如キノ惡弊
ヲ長スル所以ノ具ハ悉皆改正刪定ヲ加ヘザル
マカラス但レ世俗ノ所謂自己ノ事物ヲ自己ノ
所好ニ任スヘシト云フ諺ノ如キハ祇ニ限りナ
ク増加スル物ニ適スル言ニ非ザルノミナラス
若レ之ヲ土地ヲ有スルノ旨趣ニ及ボス片ハ必
ズ至大ノ弊害ヲ生スヘキナリ
土地賣買ノ自由ト云フ語ハ世人字義ト稍相齟
齟スルノ例ニ用フ而レテ通常此語ヲ以テ英國

ノ法律ニ於テ地主ヲシテ遺書或ハ遺言ヲ以テ其地産ヲ未タ生レザル子ニ移スヲ許可スル定嗣權廢棄ノ一事ヲ指シ次ニハ大英國中隨處ニ行ハル、所謂世祿地及ヒ限嗣地ノ地産ヲ(世祿地ノ所有主遺囑ナク死スル時又限嗣地ノ所有主咸ク死絶レテ後人ニ遺囑セザル時)長男ニ讓ルト爲ス舊慣ニ反對セル旨趣ヲ示スニ在リ想フニ此等ノ權利舊慣ノ如キハ畢竟僅々數箇ノ人ニ土地ヲ掌握セシムルノ意タルヲ免カレザルヲ顯然タリ

抑人己レノ死後ニ於テ其地産ノ方向ヲ定ムハキ諸權利ノ如キハ全ク法律ノ造意ニ出ツル者ニレテ苟モ國家治平ノ理ニ基クニ非サルヨリ人誰カ死後ニ生者ノ運命ヲ操縦スルヲ得ン去レハ又其存命ノ間ニ蓄積シ或ハ其祖先ヨリ承ケ來リシ物ト雖モ之ヲ遺囑スルノ權アルベカラス况シヤ其生者ヲ操縦スルノ權ヲ未タ生レサル者ニ及ホスニ於テラヤ故ニ土地ノ定嗣ノ一事ハ實ニ生者ノ所好ヲ抑制レテ全ク亡者ノ所好ヲ實行スルモノト爲スベシ而レテ其定嗣

事ハ總テ遺産ノ動不動ナルヲ問ハス之カ爲
メニ己レノ所好ヲ限制セラル、者ニ於テハ又
所謂交換ノ自由ヲ妨ケラル、ト謂フヘシ去リ
トテ此等ノ限制妨碍ヲ除キ是ノ如キノ特權舊
習ヲ去ルト雖モ未タ以テ土地ノ賣買ヲ自由ナ
ラシムルト爲スニ足ラス須ク其眞ノ成績ヲ望
マシニハ所謂土地ノ一大部分ヲ掲出シテ市場
ニ示スカ爲メ之レカ妨ケタル多少ノ制限ヲ剷
除セサルベカラス故ニ今ニ當テ土地賣買ノ自
由ヲ主張スルハ即チ大ナル地産ヲ區分レ開農

ノ民族ヲ興起シ主業ノ農民ヲ啓發シ百廢共ニ
振ハスニ異ルナシ何トナレハ右ノ如キ舊習一
旦除カル、キハ許多ノ土地ハ年々小分シテ市
上ノ販賣ニ附スヘキヲ以テナリ
此等ノ變革ヲ爲サレガ爲メニ説キ定ムル所ノ
論理中政治上ノ旨趣ニ關スルモノ數種アリト
雖モ宜ク此書ニ論スベキ所ニアラサルヲ以テ
之ヲ闕キ乃チ其經濟上ニ關スルモノ數種ヲ左
ニ掲ク就中主タルモノニアリ一ハ小ナル耕耘
ハ大ナル耕耘ヨリ更ニ有産ニ屬スルモノトシ

一ハ土地ヲ小區分スルキハ工匠輩ノ情態ヲ淑クシ其レヲシテ節儉ヲ進メ究困ヲ緩ウスルノ成績アリトスル是ナリ而シテ放銀ノ地ハ固ヨリ利ヲ生スルヲ微ニシテ所得乏シカルベレト雖モ所謂貧者ノ簡易ナル放理所トスル驛遞局ノ貯蓄所ニ於テ利息トシテ附與スルモノニ比スレハ較大ナル高ヲ生スルモノナリ然リト雖モ前卷既ニ述フルカ如ク器械ノ地ト放銀ノ地トハ元ト自カラ其差等無カルヘカラスシテ主業ノ農民タル者ハ宜シク此器械地ノ方法ニ意

ヲ留メ之レニ準シテ其地ヲ用フヘキナリ之ヲ要スルニ所有ヲ小分スル既ニ自カラ經濟上ノ弊ナキ能ハスレテ不動産ヲ蓄積スルモ亦大害タルハ其ニ記シテ遺ル可ラス
 正當ニ論スルハ土地賣買ノ自由ハ法律上土地ノ轉移ヲ妨クル一弊制ヲ除クニ主タルモノナリ額フニ是ヨリ先キ永時ノ間土地真成ノ權利ヲ立テ從テ之ニ附帶スヘキ永久有費ノ券狀其轉移ノ稅轉移者ノ職業ニ關スル出銀等ヲ設クル爲メ此獎制ヲ以テ必須ノ具トセリ蓋シ此

等ノ獎制大約土地定嗣ノ權ニ基ツクモノ多ク
シテ其他或ハ舊ト王室ノ權利ヲ保シ及ヒ土地
收官ノ權利ヲ獲ル爲メニ設ケシ更ニ嚴酷ナル
制度ノ餘蘄ニシテ稍合法ノ規則ト稱ス可キモ
ノアリ或ハ法律者流自己一黨ノ裨益ニ關スル
モノアリ而メ大要諸物賣買ノ自由ハ獨リ其賣
却ニ供スル量ノ多寡ニ關スルノミニ非ラスシ
テ(物)大小ヲ問ハス(交換)ヲ爲スノ難易ニモ係
ルヘシ故ニ今遽カニ長子ノ權利ヲ立ツルノ舊
習及ヒ定嗣ノ權ヲ十分ニ除去スト云フモ所謂

遺書遺言ニ因リ彼ノ世祿ノ地ト稱スルモノヨ
リ更ニ小分セル地業ヲ人々ニ附與スルノ便ヲ
妨クル際ハ土地賣買ノ自由ハ決シテ起ルベカ
ラス然ラハ之ヲ革面セシテ如何請フ先ツ真正
ナル轉移ヲ爲スベキ實況ニ進路ヲ取り其處置
ヲ變更セサルベカラス而シテ大ナル地ノ利益
ハ定嗣ノ權及ヒ長子ノ權利ヲ立ツルカ爲メ頗
ル其保護ヲ得ルモノト雖モ又之カ爲メ土地賣
買ノ自由ニ生スル各箇不利ノ影響ハ唯間接ニ
シテ僅々タルノミ

前編(即チ第九編)既ニ法律上某種ノ專業者ニ與
フルノ保護及ヒ工入黨ノ均平享利ノ爲メニス
ル保護ノ事ヲ記載セシカ此ノ如キノ規則ハ眞
ニ專業者ノ功カヲ確實ナラシムルモノニシテ
一般ノ利益ニ關スルモノトスレバ其利益ヲ特
有スル徒ノ身上ニ就テ思考ヲ起スギハ此殊ニ
其奔競ヲ妨ケ報銀ヲ増加スルノ方術タリト言
ハサルヲ得ス

此等ノ限界ヲ規トレ此等ノ論說ヲ準トレ此ニ
宜ク世ノ一般ニ知ルヘキ保護ノ作用ヲ明示セ

サル可カラス即チ保護トハ外國ノ產物ニ稅ヲ
課レ以テ自國製造或ハ農業ヲ扶助スル謂ニシ
テ其稅輕キキハ幾分ノ輸入ヲ制レ重キキハ全
ク輸入ヲ壅塞スヘレ而レテ此等ノ保護稅ト方
法ヲ一ニセル賞銀ナル者アリ即チ自國ヨリ某
種ノ物品ヲ輸出スル者及ヒ某種ノ工藝者ニ與
ノル所ニシテ例ヘハ鯨魚漁師ノ如キ其所產ノ
永續ヲ以テ果シテ國家ノ切要ニ關ストスルキ
ハ政府國ノ所入ヨリ其者ニ金額ヲ附與スル是
ナリ

元來保護及賞銀ノ制度ノ如キハ俱ニ政府法律ヲ以テ直チニ一二某種ノ職業ヲ扶助スルヲ便宜ナリト思ヘルヨリ設ケレ所ニレテ若シ夫レ各種ノ産者悉皆其保護ヲ受クルトスルキハ獨リ外國貿易ノ地ヲ拂テ廢絶スハキノミナラス自國內ノ貿易上ニ就テモ各人其品物ヲ得ルニ方リテハ嘗テ貿易保護ノ制度ナカリレハ比スレハ更ニ多量ノ償ヲ爲サ、ル可ラス當今斯ノ如キノ制ニ一ラクノ製造上ニ行ハレ即チ此地ニ於テハ各箇ノ工匠皆其身ヲ甲社ニ寄ス

ルニ非サレバ乙社ニ委テサルヲ得サレハ全府諸種ノ製造物盡ク粗澁ニレテ價高シ之ヲ要スルニ各人ヲ保護シ且ツ國中財本ノ使用ヲ督理節制スルノ事ハ幾ト人カノ能スベキ所ニアラシテ假令之ヲ爲レ得ルト云フモ畢竟無益ニ屬スベレ故ニ天ノ有益ト稱スル保護ハ決シテ公平不偏ナルモノニ非ス既ニ(第九編)保護ヲ受クル勤勞ノ一事ヲ論スルニ方リ凡ソ工人黨ニ糾合スル者ノ如キハ恰モ他ノ勞者ニ罰金ヲ負ハシムルト謂テ可ナル旨ヲ記セレカ即チ此

レト均シク諸種ノ保護ハ他人ヲ強奪スルノ意
 ナリト云フ說復タ誣ヒタリト謂フハカラス今
 尚詳カニ言ハハ總テ保護ハ保護ヲ受ザル某種
 ノ人民ヲヒテ其要品ヲ買求ムルニ市場ノ制限
 ナキヨリ己ムヲ得ス更ニ多量ヲ償フニ至ラレ
 ムルノ意ニ外ナラザルナリ
 抑財本常ニ自然ニ出テ、又善ク自然ノ保護ヲ
 得ヘキ工藝ニ入ルガハ保護ナル者ハ全ク無用
 ノ長物タルヲ明カナレモ政府ノ見常ニ之ニ反
 レテ往々財本ヲ饒産ナル業ヨリ更ニ微産ナル

業ニ轉移セントスル所以ハ某ノ種ノ景況ニ從
 ヒ職業ニ由テハ乙ノ微産者甲ノ饒産者ノ如ク
 有益ニ財本ヲ用ヒサルヲ慮レバナリ蓋シ製造
 ヲ支保スル爲メ特ニ保護ノ缺クベカラザルト
 爲スモノ其意若シ此扶助ナケレハ製造者其費
 買ノ爲メニ損失シ到底業ヲ行フ能ハサラント
 謂フニ外ナラサルベシ嗚呼奇ナルカナ然レハ
 若シ此意ヲ推シ一國立法院ニ於テ外國ノ輸入
 ヲ制シ以テ茶、咖啡ノ製造ヲ保護セント決議ス
 ルキハ果シテ能ク之ヲ煖室ノ中ニ於テ耕種ス

バキヤ誰レカ之ヲ狂愚ノ大ナルモノト謂ハサ
 ラン然ルニ倘レ其産物ノ爲メ斯ル方術ヲ用フ
 ルニ至テハ更ニ幾ト五十倍ノ費額ヲ用フベシ
 ト雖モ曾テ其補アルヲ見サルベシ而シテ斯ル
 有費ノ方術ト雖モ穀物鐵絹布ニ保護稅ヲ課ス
 ルト相較フレハ其謬見共ニ甚タ遠カラサルモ
 ノトス但シ穀物鐵或ハ絹布等ニ至テハ其用交
 缺クベカラサルニ因リ弊害殊ニ大ナルノ異ア
 ルノミ按スルニ此論既ニ本文ノ如クナレハ即
 可キナリ其價金ノ騰貴シテ人皆高價ニ苦シム

抑保護ハ絶テ一般ノ工藝ヲ鼓舞スル能ハサル
 モノニシテ元來政府ハ勤勞ヲ助クヘキ財本ヲ
 有スルモノニ非ス其斯ノ如クスルニハ必ス他
 ノ職業ヨリ之ヲ轉移セサルベカラス世ノ政府
 ヲ見ルニ某種ノ勤勞ヲ保護スルハ必ス亦某
 種ノ勤勞ヲ微ニシテ其財本ヲ蝕削シ或ハ甲業
 ヲ助クルニ乙業ノ資額ヲ以テシ弱ヲ補フニ強
 ヲ損シ不毛ノ地ヨリ微々タル收納ヲ得シ爲メ
 豊饒ノ地ニ於テ多々ノ産物ヲ失フテ常ナルガ
 今夫レ農夫ニ荒蕪ノ地ヲ耕サシメレカ爲メ豊

鏡ノ地ヲ不産ニ屬セシメハ人將タ之ヲ何トカ
言ハシ抑何ノ補ヒカアルヤ斯ル方法ヲ用フル
國ノ僅カニ天然ノ生殖存スルニ由テ然ルノミ
豈之ヲ虚利ヲ得テ實益ヲ喪フモノト言ハサル
ヲ得シ一人ニ懸想ノ利益ヲ得セシメントシテ
衆人ニ實有ノ難苦不便ヲ被ムラシムル果シテ
何ノ心ソヤ即チ懸想トハ他ニアラス元來政府
一人或ハ數人ヲ保護シテ生産ノ專賣ヲ許サシ
リセハ(他ニ變スルヲナケレバ)初メヨリ利分ヲ
平等ナラシムル經濟上ノ定理ヲ妨クルトモ無

カルハキニ然カセスシテ右ノ如キ弊ヲ襲スル
ルハ世ノ製造者ハ皆保護ヲ得タル職業上ニ趨
向シ可憐政府ノ得セシメントセシ利益モ其奔
競ノ爲メニ消散シ終ニ全ク消滅スヘキニ因レ
リ
然レモ又往々所謂保護ヲ以テ防禦ノ術策トス
ベキ事情アルヲ主張スルモノアリ而シテミ
ル氏ノ説ニモ保護税ノ一時ハ用ヒテ以テ盡ク
適當スル景況アリテ就中創業日淺クシテ漸々
進歩スル國ニ於テ恰モ其國勢ニ相當ナル外國

ノ工藝ヲ域内ニ傳習セシメント欲スルニ適當
ナリトセリ蓋シミル氏ノ此保護ニ許セシ限界
ノ度ハ當ニ十分ノ經驗ヲ得ルニ必要ナル時間
ニ關スルモノタルヲ察知ス可シ

世ノ著述者流カ論スル所固ヨリ至理ノ存スル
處自ラ矩ヲ踰エサルニ由ルモノト雖モ之ヲミ
ル氏ノ獨リ許セシ所ニ比スレハ大抵有害ナル
モノ稀ナリ而シテ(一千八百六十二年刊行「書名經
濟綱領」
レシブレス、オフ、ホルチカル、エコノミ
義)第二卷第五百二十五款ニ記載セル上文所述

ニ同キ章句ノ如キハ合衆國及ヒ大英屬國ニ於
テ採用セル會計制ノ正當ナルヲ證スル爲メ屢
引說スル所ナリ即チ此等ノ地方ノ景況恰モミ
ル氏ノ論セシ所ノモノニ符合シ建國以來未ダ
久レカラスシテ將ニ其禮俗ヲ進メントスルニ
際セルヲ以テ工藝モ猶未熟ニシテ恰モ土地ノ
自然ト人民ノ稟性ニ適合シ種族ノ如キ原ヨリ
本國ト其系ヲ一ニスト雖モ尚カメテ本國ノ製
造物ヲ禁シ之ヲ衰敗セシメントス抑顧フニ凡
テ何等ノ時ニ關セス舊國ノ工藝ヲ以テ新國ニ

移スベカラサルノ理ナレ去レハミル氏ノ識認
セレ例ヲ引説シテ其意ヲ守ルルハ常ニ弊害ヲ
受クルヲ免レス
各國常ニ工業ノ保護ハ宜ク天然ニ任スヘキモ
ノトレ而レテ廉價ノ物品ニシテ秤量大ナルル
ハ其運輸ノ費用ナル者アリテ全ク禁止税ノ力
ヲ存シ又秤量小ナルルハ其費用亦保護税ノ力
ヲ存スヘク然ルルハ多少ノ景況中正レク自國
ノ生産ヲ鼓舞スル道ニ於テ此二件ノ出銀法及
テ外國貿易上現ニ之レニ均レキ方法アルヲ以

テ乃チ既ニ足レリト爲ス可シ蓋シ前條ニ所謂
建○國○以○來○未○タ○久○レ○カ○ラ○サ○ル○情○況○ニ○於○テ○ス○可○キ
經○驗○ト○爲○ス○者○仮○令○製○造○上○ニ○關○ス○ル○事○故○ニ○就
テ云ヒタルモ正ニ是レ我カ論駁スヘキノ意見
滿胸ニ充溢シテ復タ答辭ヲ容レレメサル所ナ
リ然レド又既ニ外國ノ市場ト痛痒相關カラサ
ルモノニシテ尚且ツ供給若クハ費用ノ確實ナ
ラサル如キ情況ニ在テハ却テ此旨ノ以テ適ス
ル所アラントス
加之是ノ如ク財本ヲ有益ノ利場ヨリ移レテ無

益ノ利場ニ投スル保護制ノ當否ヲ辯駁スル爲メ世ニ論定スル所ノ條理ハ恰モ創建以來未タ久シカラス入烟猶稀疎ニシテ將ニ漸ク進歩セントスル景況ニ居ル國ニ適スルヲ甚タ大ナリトス按スルニ是ノ如キ國ニ於テハ人民皆財本ノ缺乏ニ困苦スルヲ免レス然ルニ原來其地ハ唯未タ開發セス未タ所有ニ歸セサルマテニテ勿論天然ノ所産ニ饒カナルヲ故到ル處其所有ヲ豊カニセン爲メ財本ヲ用フヘカラサルノ地ナキニ因リ國民ハ愈勵精シテ其財本ヲ得ン

ヲ欲ス故ニ債主甚タ少ニシテ負債者多キニ過キ是ニ於テ其利息ノ高常ニ貴シ抑勢斯ノ如クナレハ則チ生産多カラサル職業ニレテ永久ノ保存ヲ謀ルニハ必ス自國生産上天然ノ利益ノミヲ以テ足レリト爲スト能ハス到底彼ノ故ヲナル立法院ノ保護ニ頼ラサルヲ得サルベシ然ルニ茲ニ顧慮セスレテ漫リニ其貴キ財本ヲ舉テ此等ノ業ノ消盡ニ委ヌル如キハ愚モ亦甚レト謂フベシ抑一國保護ノ制度果シテ善ク其工藝ヲ開進ス

ヘキヤ豈是レ世人ノ得テ決スル所ナラシ又其
保護ノ除限何レノ時ヲ以テ終ルヤ是レ將タ得
テ期ス可ケンヤ然ルニ(國家ノ爲メ十分切要ト
スヘキ工藝ハ固ヨリ論セス)總テ特恩ノ工藝ニ
與フルニ尚且ツ保護ノ延期ヲ以テスル如キハ
永久ノ弊、姦詐百出シテ往々之レ弊爲メ斯ノ如
キ制度ヲ公許セル立法院行法院ノ體面ヲ汚蔑
スヘキヲ瞭然掩フ可ラサルヲ非スヤ抑何ノ所
見アツテ某種ノ工藝ニ斯ル間接ノ扶助ヲ加フ
ルヲ獨リ新主ノ國ニ可ナリトスルヤ將タ人烟

稠密ナル舊國ニ於テハ適宜ノ方法ニ從ヒ新業
ヲ開發スルノ一復タ見ルベカラストスルヤ若
レ夫レ見ルベカラサランニハ何爲ソ其嘗テ至
大ノ害ヲ被リ漸ク困難ヲ極メテ經濟外ニ擯斥
セシスル保護家ノ錯謬ニ抵抗スルノ徒ヲレテ
常ニ絶エサラシムルヤ

此他尚強チ政治交際經濟等ノ事ニ關セサル保
護制ヲ助ケテ通常世ニ論定スル所ノ一説アリ
就中合衆國ノ保護家中ニハ諸種ノ工藝ヲ開進
スルヲ以テ政府ノ職掌トシ極メテ之ヲ主張ス

ルヲ喜フモノアリ其目的ヲ尋ヌルニ敢テ自國
 人民ノ作業ヲ多カラシメ且ツ國家ノ自持確立
 ヲ崇ウセシムルカ爲ニスルニ非ス又自國ノ要
 物ヲシテ獨リ外國ノ産者ニ專ラニセシムル
 ナカラシメンカ爲メニスルニモ非人而シテ其
 人民ノ通言ニモ我レ全國ノ舉テ財料ノ生産ニ
 從事スルヲ要セス又工匠及ヒ農夫ニ缺乏セス
 ト云ヘリ抑既ニ速フルカ如ク凡ソ國トシテ外
 國ノ市場ニ隔絶セサルモノ稀ナリ然レハ自國
 天然得ル所ノ保護ニ從テ勉カレ以テ其作業ノ

多カラシムルヲ望マサルベカラス又何ヲ苦シテ
 此愚制ヲ用ヒシヤ去レハ合衆國ノ如キ若シ全
 ク從來無税ニシテ外國ノ物品ヲ國內ニ輸入ス
 ルヲ得ルカ若クハ少クモ外國ノ産物ニ自國ノ
 産物ヨリ多ク税ヲ課セサリセハ其ペンシルヅ
 ニヤ州若クハニウエングランド諸州ノ製造者
 ハイルリノイス州ミソウリ州オハイヲ州等ノ
 市場ニ於テ英國ノ輸入者ト交換シテ常ニ至大
 ノ利益ヲ收メシナルヘシ何トナレハ三州ノ市
 場ハ此徒ニ在リテ彼ノ買客判國ノ輸入者ニ比シ

レハ其近キト管ニ數千里ノモナラス買客ノ缺
乏ヲ知ルトモ更ニ甚タ容易ナレハナリ意フニ
買客ヲ究困シ産者ノ志氣ヲ變セシメテ其國ヲ
富强ニセントスル如キハ豈ニ甚タ異ナラマヤ
蓋シ斯ノ如キノ權謀ハ從來政道ノ謬見ヲ免レ
サルニ方リ稱賛セラレ偏狹貪鄙ノ徒ノ自ラ主
張シテ自ラ斃ル、所ノモノナリ
又自國ノ要物ニ就キ一ニ外國ノ産者ニ倚賴ス
ルノ恐ヨリ一時保護家ノ中ニ專ラ行ハレシ所
ノ議論アリ今此ニ掲クルモ其益ナカルヘキヲ

以テ敢テ論セズ抑曩キニ英國若シ管ニ自國ノ
産物ニノミ倚賴シタランニハ其工藝ハ大約地
ヲ拂テ陵夷シ其食物ノ如キモ當今ヨリ更ニ匱
乏ノ危険ヲ履ミシナラン原來他ノ最モ廣キ地
方ヨリ食物ヲ輸入スルノ國ハ還テ常ニ確實ニ
其供給ヲ得ルモノヲテ之ニ反シ其人民保存ノ
爲メ全ク自國ニ産スル食物ノミニ倚賴スルノ
國ハ常ニ匱乏飢饉ノ憂ニ罹リ易キヲ常トス又
農産ノ輸入ヲ自由ニシ外國ノ所好ニ應スル物
品ヲ製造シテ世界各国ヨリ絶エス其所産ヲ收

ムルノ國ハ常ニ最モ廉價ニシテ精美ナル食物
ノ供給ヲ得ヘシ然ルニ凡ソ國トシテ全世界ヲ
敵トシ交戦スルノ常ニ稀レナルヘク且ツ全世
界舉テ收納ノ不足ナルノ絶エテアルベキ理ナ
ケレハ此ニ虞慮スルヲ須ヒサルナリ
上文ノ外又保護ノ爲メニ論定スル所ノ一項ア
リ即チ英國ニ於テ地主ハ特別ナル重税ヲ課セ
ラルニ因リ只管ラ立法院ノ制度ヲ假テ其所
産ノ價金ヲ騰貴シ以テ其償ヲ得セシメザルベ
カラスト云フ説是ナリ然ト雖モ今明理家ノ説

ニ從ハハ右議論ノ原因結末共ニ誤謬タルヲ脱
レス蓋シ地主ノ特別ナル重税ヲ被リ易シト云
フモ全ク事實ヨリシテ然ルニアラズ而シテ假
令事實特別ナル賦税ヲ被ラシムル時ト雖モ故
ラニ其所産ノ價金ヲ騰貴シテ之ヲ償ハシムベ
キニアニス却テ真成ニ其事實ニ就テ之ヲ見ル
キハ凡ソ保護ノ法律ヲ廢棄セシ以來其地主ニ
關スル産物ノ價金他ノ行爲ヲ須タスシテ自ラ
騰貴セシト甚タ大ナルヲ知ル
大英國ニ於テハ幸ニシテ地主ノ地位全ク他國

泰西經濟新論 卷六 陸

ノ私有主ト相反スルヲ得業既ニ天然ノ作用
ニ因リ年々其地ノ價直ヲ騰貴シ今ヨリ後尚ホ
輟マサラントス而シテ地主ノ直チニ貢スヘキ
租税ハ百七十年前ニ定マリタル估價ニ課セル
モノニシテ且ツ年々進貢スルニ非ス加之假今
之ヲ年々ノ税金トシ見ルモ事實決シテ斯ノ如
キヲナケレモ唯甚々些少ト爲スニ足ラサルベ
シ又其税額ノ如キハ隨處各異同アリト雖モ其
税額ノ若干中一ハ道路ノ造營修繕等土地永久
ノ開拓ニ供シ又一ハ常ニ勞銀騰貴ノ爲メニ用

ヲ廢スルノ憂ニ遭ヒ易キ勤勞ノ扶助ニ供スル
モノナリ然ルニ此等ノ税ハ又一般ニ其地ノ居
住者ニ課スルヲ故此ニ様ノ景況ニ就テハ曾テ
其修繕ノ爲メニ裨益ヲ得ス其勤勞ノ爲メニ毫
モ利得ヲ見サル人ニ至ルマテ皆合カシテ其便
利必要ヲ助クヘキノミ且ノ前卷既ニ述フルカ
如ク地代ハ其地ノ生産費用外ニ餘ス所ノモノ
ナレバ生産費用ヨリ減スル所ノモノハ即チ總
テ地代ニ歸レテ其高ヲ上スヘキナリ又農夫ハ
家畜ノ保任税ヲ免カル、ノ益アリテ既ニ他ノ

職業ヲ營ムモノト異ナリ例ハ其使役スル馬ノ爲メニ毫モ定税ヲ出スコトナキカ如シ又地主ハ他ノ財主ニ較フレハ其出銀ニ比例シテ更ニ大利益ヲ生スル永久ノ開拓ヲ爲レ得ルカ故ニ常ニ甚タ低量ノ償額ヲ納レテ政府ヨリ貨幣ヲ借り得ルノ便アリ加之遺物税ヲ償フコトナク僅カニ嗣業ノ薄税ヲ償フノミ且ツ立法院ノ常トシテ其處置多クハ仁恤ニ涉リ既ニ近年甚タ酷烈ナル牛瘟流行レ牛馬大ニ死亡シ之レカ爲メ其傳染ヲ受タル群牛馬ヲ殺レ以テ其流行ヲ防

クノ特ニ須要タリレ時ニ方リ平常ノ理ニ原イテスルキハ斯ル保護ヲ得テ己レノ家畜ヲ安全ナラシムル者ニハ宜ク獨リ其償ヲ爲サシムベキノ理ナリト雖モ當時其償却ヲ却テ一般ノ人民ニ課シ即一般ノ人民ヨリレテ特ニ二重ノ税金ヲ征收シタリ蓋シニ重税トハ一ハ肉類及ヒ日用産物ノ價金騰貴スルニ因リ一ハ右人民ノ損失ヲ保任シ得ヘキ元金ヲ備フルニ因リ受ル所ノモノヲ云フノミ又土地ニハ至大ノ特恩ヲ存シテ常ニ特殊ノ重税ニ苦レムモノト其情態

賣カニ異ナリ但シ販賣或ハ定嗣ニ由テ轉移ス
ルキニハ土地亦頗ル費用ヲ累ヌト雖モ印稅ヲ
除クノ外ハ此等ノ出費ハ大抵其地主ノ從來得
テ守リシ至大ノ地業權ニ由來スル所ニレテ亦
止ムヲ得サルノミ

又地主ハ縱ヒ斯ノ如キ重稅ヲ課セラルト雖
モ故ラニ其產物ヲ騰貴スルニ因テ敢テ真正ノ
償ヲ得ヘキニアラス選テ其眞ノ利益ヲ得ニ
ハ全ク之ニ相反シタル處置ヲ以テセザルベカ
ラス蓋シ田園ハ常ニ穀物ノミ產スヘキニアラ

ス又肉類及ヒ日用ノ產物ヲモ生スルモノナリ
故ニ夫ノ穀類ノ價金騰貴スルキハ他ノ產物ノ
價金必ス低下スヘキ理ニ准レ小麥ノ高價ナル
ハ即チ肉ノ廉ナルナレハ若シ一旦生計第一ノ
必要物ヲ買ヒ求ムルノカヲ妨ケ或ハ之ヲ制限
スルキハ其影響殊ニ日用生計ノ贅託ニ供スル
第二ノ必要品ヲ買ヒ求ムルカニ及ホスト更ニ
甚タ大ニシテ奈何ソ地ノ利益ヲ收ムルヲ得シ
ヤ但シ此レ前編既ニ縷述スル所ノモノト雖モ
總テ價金ニ關スル法則ヲ研究スルハ各箇產者

ノ宜ク專務トスヘキ所ニシテ常ニ此等ノ條理ヲ明識スルキハ幾多ノ生産ヲ饒カニシテ粗莽ノ謬計ニ陥ルコトナク最モ功ヲ收ムヘキカ故ニ此ニ之ヲ再説スルノミ又諸種ノ物品ニ屬スル一般ノ求需ハ其物品ノ性質ト其物品ノ衆人生計ノ緩急缺乏ノ大小トニ關シテ自カラ異同アリ又僅少ノ買客ニシテ夥多ニ求需スルモノニ較フレハ夥多ノ買客ノ僅少ニ求需スル者常ニ其價金ヲ騰貴スルコト莫カニ大ナルモノニシテ恰モ今日一國歳入ノ總計ハ一般ノ人民中ヨリ

分頭ニ微銀ヲ集メテ成レルモノナルカ此等ノ歳入ノ額ニ由リ常ニ通商工藝ヲ衰ヘシムルノ影響ヲ生スル實ニ大ナルガ如シ蓋シ今日農夫ノ識漸ク正ニ此等ノ事ニ通曉シ且ツ外國ヨリ不贍ノ所産ヲ收メ中度物物品ヲ入ル、ノ以テ損耗タルヲ明悟スルニ迫ヘリ顧フニ多年前ト雖モ其實豈今ニ異ナランヤ切ニ望ム農夫等爾後其外國穀物ノ供給ヲ妨クルキハ外觀稍己レノ利益ナルニ似タルモ畢竟之ニ因リ全國ノ購買力ヲ衰ヘレメ殊ニ農業ノ實利ヲ得シカ爲メ

依頼スル物品ノ價直ヲ低落セシムルノ害ニ目
ヲ注センコトヲ

寺内章明 校

泰西經濟新論卷之六畢

官版御書籍發兌

芝大神宮前

山中市兵衛

目本橋通三丁目

稻田佐兵衛

藥山町一丁目

出雲寺萬次郎

泰西經濟新論

八